

令和 4（2022）年度
武蔵野市民意識調査報告書
【速報版】

令和 4（2022）年11月

武 蔵 野 市

目次

I 調査の概要	1
II 調査回答者の属性	3
III 調査結果	8
1 お住まいの地域のことについて	8
問1 定住のきっかけ	8
問2 生活環境の評価	9
問3 定住意向	10
問3-1 定住意向の理由	11
問3-2 転出意向の理由	12
問4 武蔵野市全体・お住まいの地域への関心度	13
問5 近隣との交際状況	15
問5-1 近隣との交際のきっかけ	15
問5-2 近隣との交際がない理由	16
問6 地域における行動の状況・意向	16
問7 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと	17
問8 地域への誇り・愛着	17
問9 困っていること・不安なこと	18
問10 手伝ってもらおう相手	18
問11 相談相手	19
2 市政に関する情報提供などについて	20
問12 市の情報の入手状況	20
問13 知りたい市政情報	21
問14 広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段	23
3 市の施策に対する満足度・重要度について	25
問15 市の施策に対する満足度・重要度	25
問16 市政の現状や問題点	33
問17 武蔵野市の将来像	34
4 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度などについて	35
問18 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度	35
問19 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策	40
問20 不安に感じたことや困ったことの内容	41
問21 生活や行動の変化	42
問22 今後も利用が促進されるべきオンライン活動	43
問23 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み	43
5 平和・多文化共生について	44
問24 「平和」についての関心の有無	44
問24-1 関心を持っていない理由	44
問25 市の平和事業の認知・参加状況	45
問25-1 参加しなかった理由	46
問25-2 参加したい事業・イベント	46
問26 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度	47
問27 「武蔵野市平和の日」(11月24日)の認知度	47
問28 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと	47
問29 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること	48

問 30 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望.....	49
問 30-1 希望する外国人との関わり方.....	49
問 31 外国人と関わる際の支障	50
問 32 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと	50
問 33 地域に外国人が増えることによる影響	51
問 34 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと	52

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えをうかがうことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することを目的に、市民意識調査を実施してきました。

今回の調査結果は、今後の長期計画・調整計画策定を含めた、市政全般に関する基礎資料として活用します。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

<調査テーマ>	<問番号>
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、困っていること・不安なこと、手伝ってもらおう相手、相談相手〕	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況〕	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問15～問17)
(4) 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度などについて 〔市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度、新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策、不安に感じたことや困ったことの内容、生活や行動の変化、今後も利用が促進されるべきオンライン活動、行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取組〕	(問18～問23-1)
(5) 平和・多文化共生について 〔「平和」についての関心の有無、市の平和事業の認知・参加状況、中島飛行機武蔵製作所の認知度、「武蔵野市平和の日」の認知度、平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと、平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること、武蔵野市在住の外国人との関わりの希望、外国人と関わる際の支障、外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと、地域に外国人が増えることによる影響、多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと〕	(問24～問34)
(6) 自由意見欄 〔平和・多文化共生に関する市の政策についての自由意見 市政についての自由意見 新型コロナウイルス感染症に関する市の政策についての自由意見〕	

3 調査設計

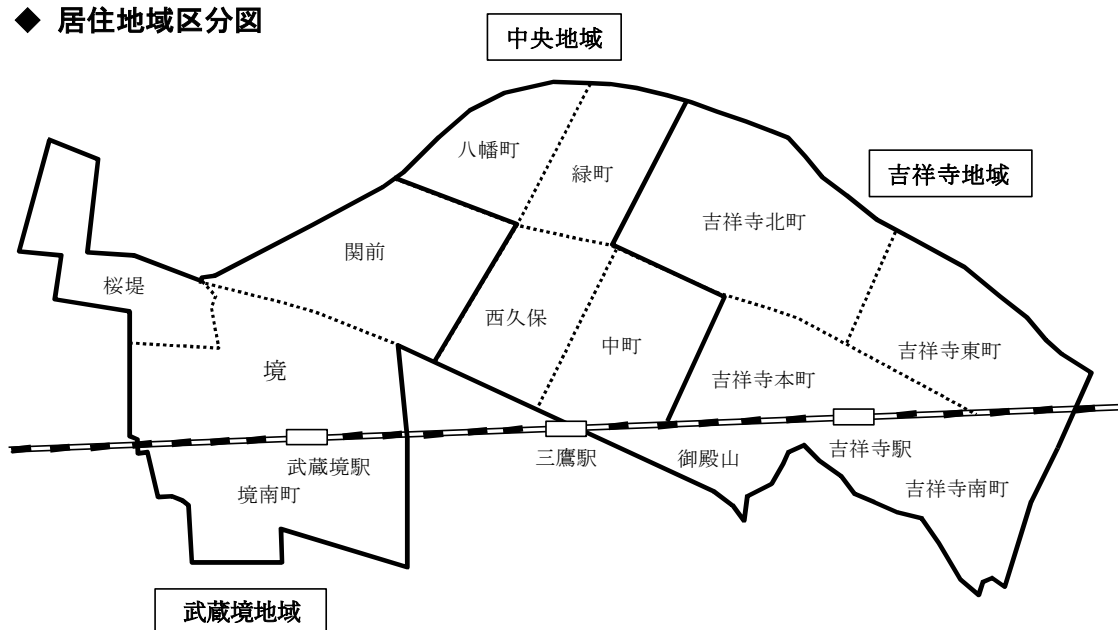
- (1) 調査地域 武蔵野市全域
- (2) 調査対象 武蔵野市に居住する満18歳以上の方
- (3) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布一郵送・WEB回収併用
- (5) 調査時期 令和4（2022）年7月27日（水）から8月26日（金）まで

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回(令和4(2022)年)	4,000標本	36.7% (1,468件)	郵送回収：922件 WEB回収：546件
令和2(2020)年	3,500標本	51.6% (1,805件)	郵送回収：1,244件 WEB回収：561件
平成30(2018)年	3,500標本	43.0% (1,504件)	郵送回収：1,180件 WEB回収：324件

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

<地域名>	<地域該当町>
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

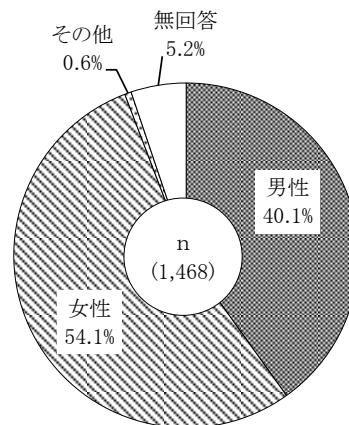
6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) この速報版では、自由意見欄の集計は行っていません。
- (5) 性別の「その他」、年齢の「18~19歳」については、回答数が少ないため、数値の見方に注意が必要です。
- (6) 各設問の回答者の属性別の表では、無回答数を表記していない箇所があるため、合計が全体の数値と合わない場合があります。
- (7) いくつかの調査項目は令和2(2020)年度(前回調査)と比較しています。

II 調査回答者の属性

1 性別

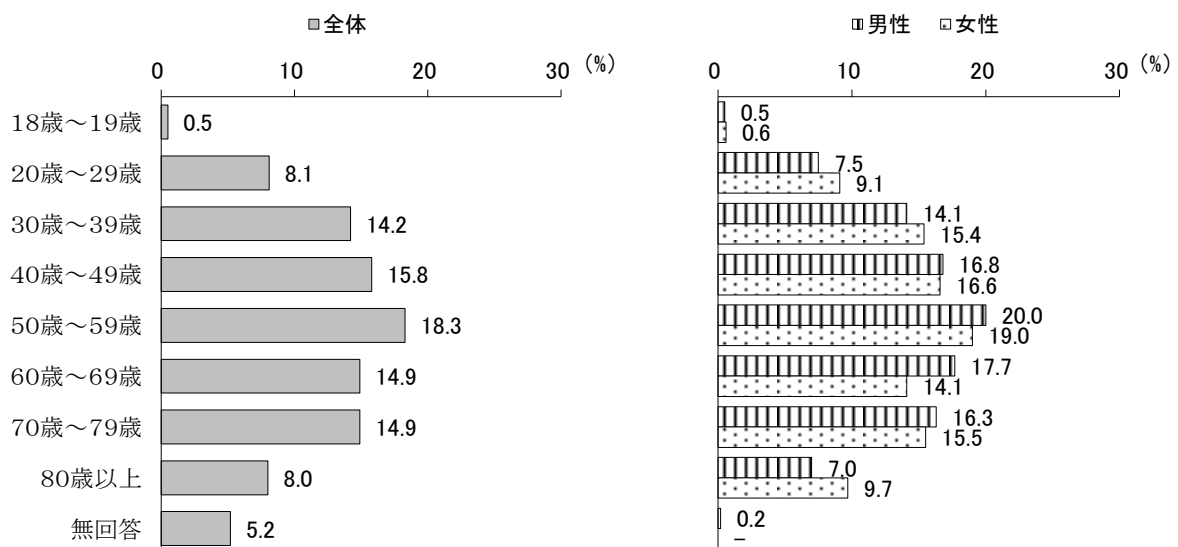
	基 数	構成比 (%)
1 男性	589	40.1
2 女性	794	54.1
3 その他	9	0.6
(無回答)	76	5.2
合 計	1,468	100.0



2 年齢／性・年齢

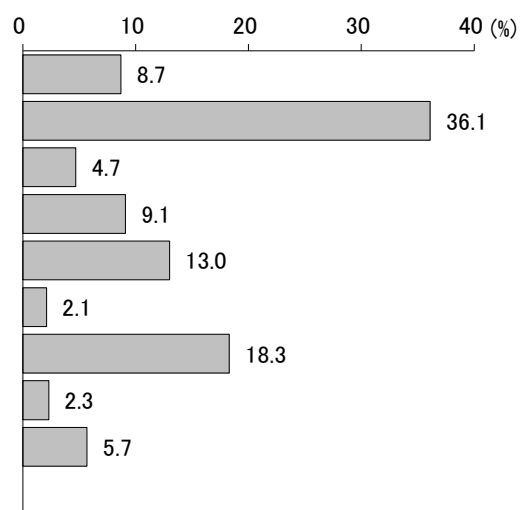
	全体		男性		女性	
	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	8	0.5	3	0.5	5	0.6
2 20歳～29歳	119	8.1	44	7.5	72	9.1
3 30歳～39歳	208	14.2	83	14.1	122	15.4
4 40歳～49歳	232	15.8	99	16.8	132	16.6
5 50歳～59歳	269	18.3	118	20.0	151	19.0
6 60歳～69歳	219	14.9	104	17.7	112	14.1
7 70歳～79歳	219	14.9	96	16.3	123	15.5
8 80歳以上	118	8.0	41	7.0	77	9.7
(無回答)	76	5.2	1	0.2	0	0.0
合 計	1,468	100.0	589	100.0	794	100.0

※性別では、男女を足し合わせても、回答数のごく少数のその他・無回答を表記していないため、全体の人数にはなりません。



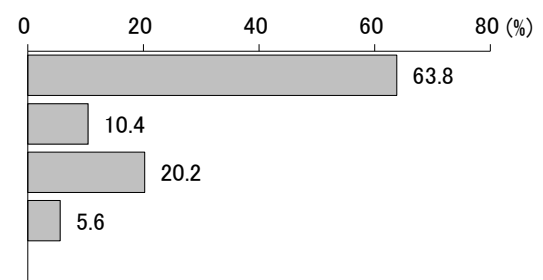
3 職業

	基数	構成比(%)
1 自営業・自由業	127	8.7
2 正社員、正職員	530	36.1
3 契約社員、派遣社員	69	4.7
4 アルバイト、パート	134	9.1
5 家事専業	191	13.0
6 学生	31	2.1
7 無職	268	18.3
8 その他 (無回答)	34 84	2.3 5.7
合計	1,468	100.0



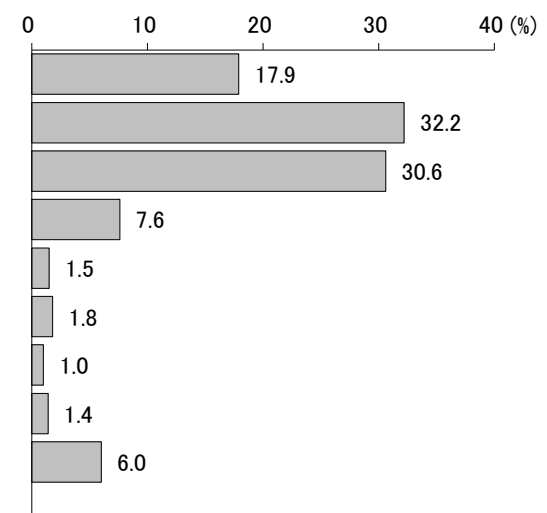
4 婚姻状況

	基数	構成比(%)
1 現在、結婚している	936	63.8
2 過去に結婚していた(離別、死別 など)	153	10.4
3 一度も結婚したことはない	297	20.2
(無回答)	82	5.6
合計	1,468	100.0



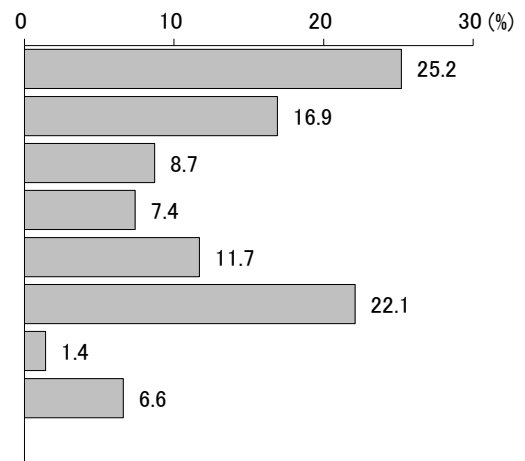
5 家族構成

	基数	構成比(%)
1 ひとり暮らし	263	17.9
2 自分と配偶者(事実婚含む)・ パートナー	473	32.2
3 自分と子(2世代世帯)	449	30.6
4 自分と親(2世代世帯)	112	7.6
5 自分と子と孫(3世代世帯)	22	1.5
6 親と自分と子(3世代世帯)	26	1.8
7 祖父母と親と自分(3世代世帯)	15	1.0
8 その他 (無回答)	20 88	1.4 6.0
合計	1,468	100.0



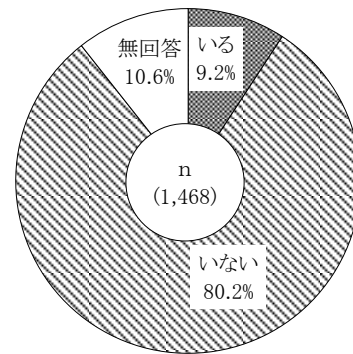
5-1 お子さんの就学状況(一番年少の方)

	基 数	構成比(%)
1 小学校入学前	125	25.2
2 小学生	84	16.9
3 中学生	43	8.7
4 高校生	37	7.4
5 専門学校、短期大学、大学生等	58	11.7
6 社会人	110	22.1
7 その他	7	1.4
(無回答)	33	6.6
合 計	497	100.0



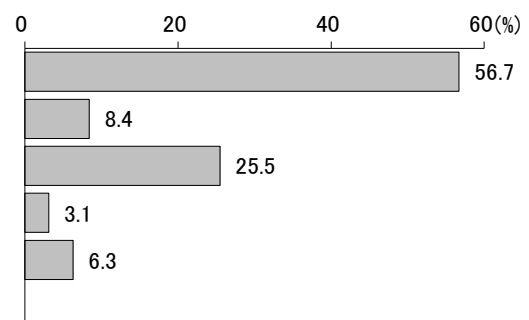
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比(%)
1 いる	135	9.2
2 いない	1,177	80.2
(無回答)	156	10.6
合 計	1,468	100.0

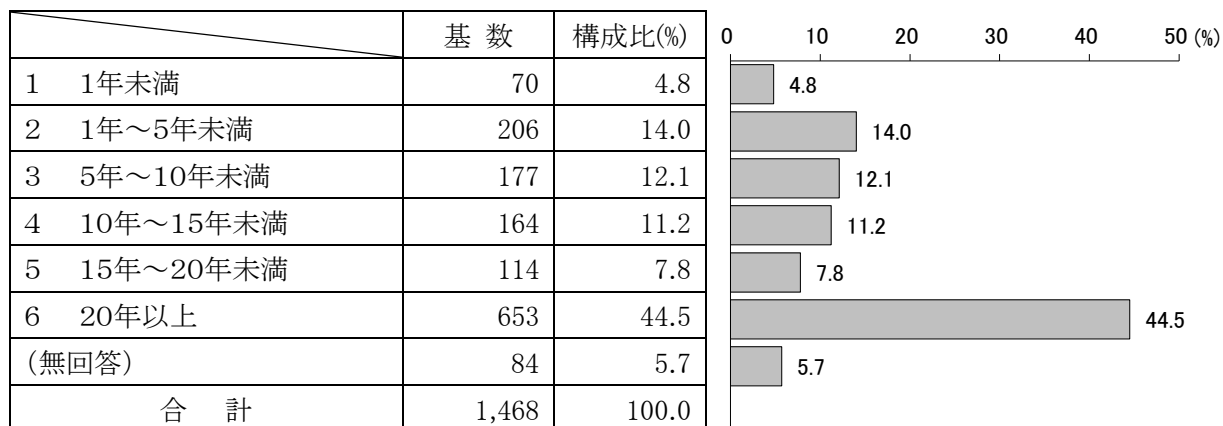


7 日中最も多くの時間を過ごす場所

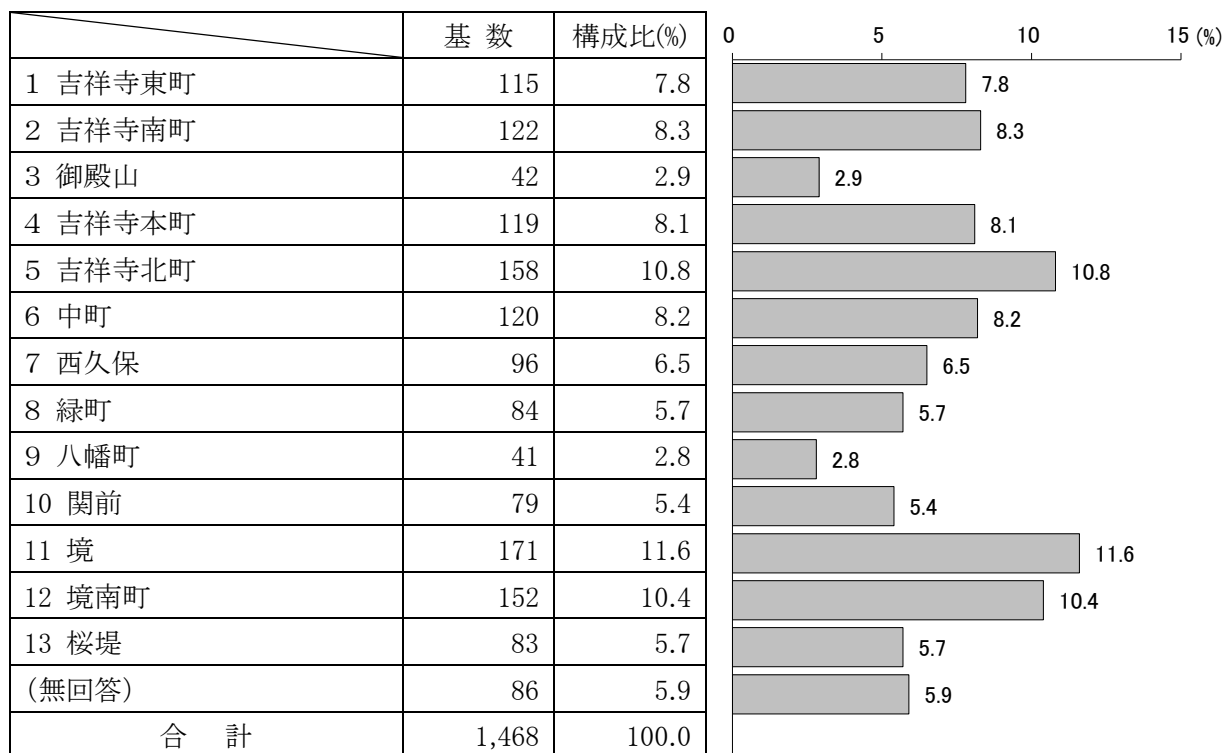
	基 数	構成比(%)
1 武蔵野市内	832	56.7
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	124	8.4
3 東京都23区内	375	25.5
4 東京都外	45	3.1
(無回答)	92	6.3
合 計	1,468	100.0



8 居住年数

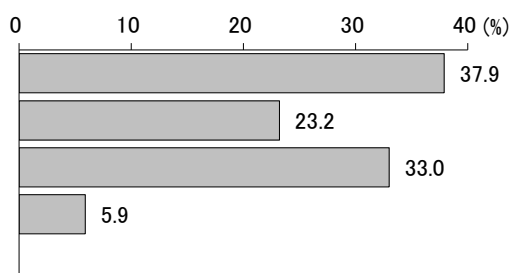


9 居住町名



9-1 居住地域※

	基 数	構成比(%)
1 吉祥寺地域	556	37.9
2 中央地域	341	23.2
3 武蔵境地域	485	33.0
(無回答)	86	5.9
合 計	1,468	100.0



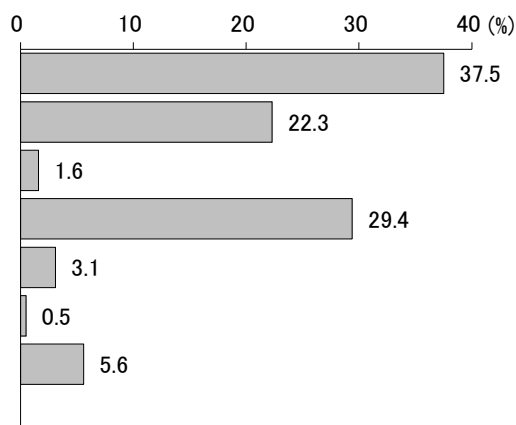
※吉祥寺地域 …(吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

中央地域 …(中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 …(関前、境、境南町、桜堤)

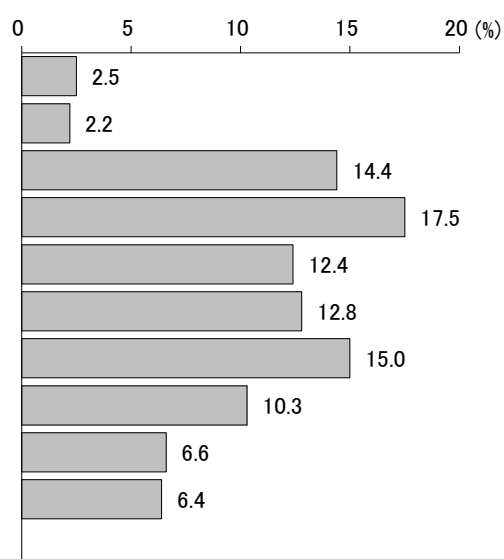
10 住宅の種類

	基 数	構成比(%)
1 持ち家(戸建て)	551	37.5
2 持ち家(マンション等の集合住宅)	328	22.3
3 借家(戸建て)	23	1.6
4 借家(マンション・アパート等の集合住宅)	431	29.4
5 社宅・寮	46	3.1
6 その他(福祉施設など)	7	0.5
(無回答)	82	5.6
合 計	1,468	100.0



11 世帯収入

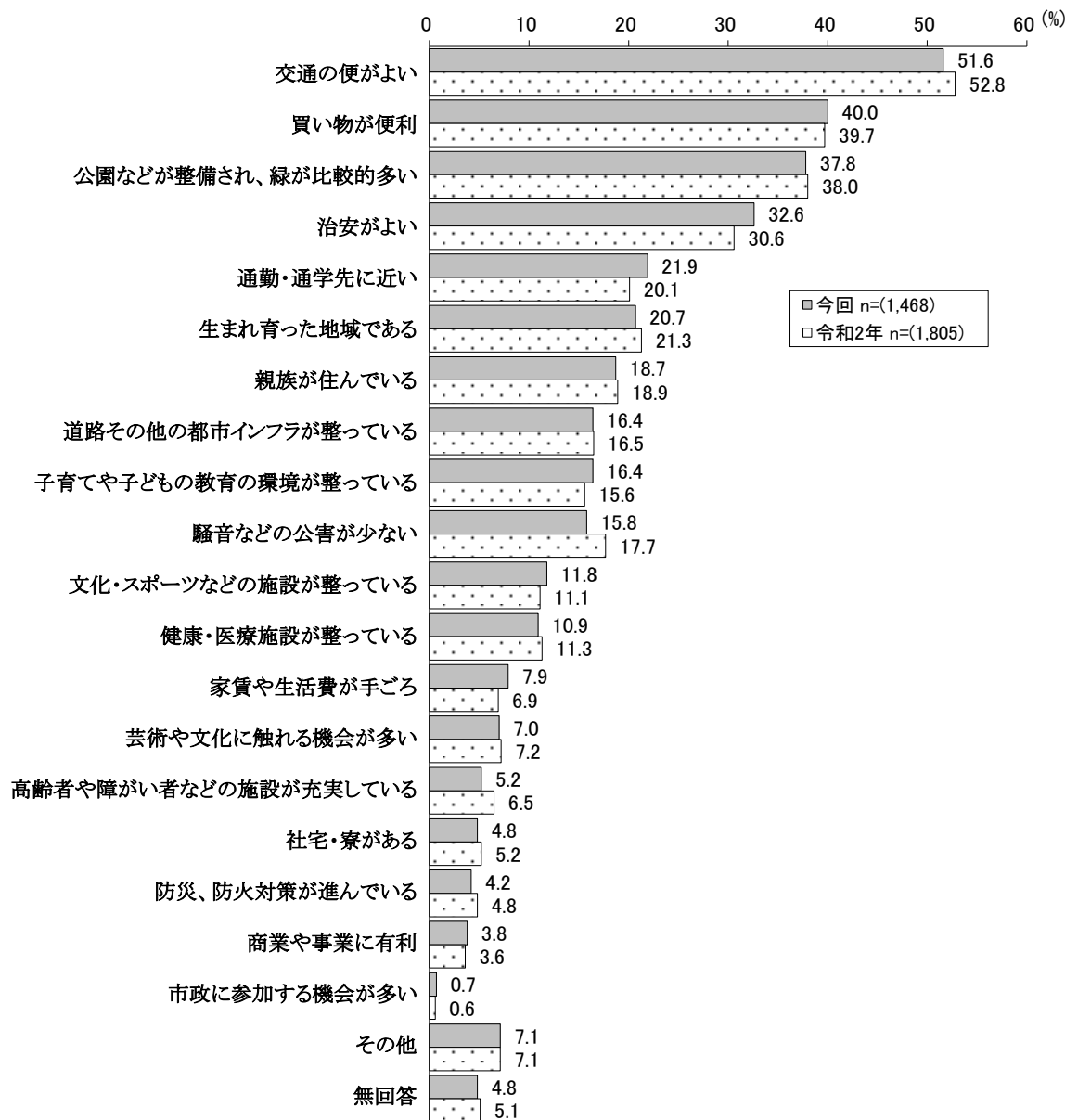
	基 数	構成比(%)
1 収入なし	36	2.5
2 100万円未満	32	2.2
3 100～300万円未満	211	14.4
4 300～500万円未満	257	17.5
5 500～700万円未満	182	12.4
6 700～1,000万円未満	188	12.8
7 1,000～1,500万円未満	220	15.0
8 1,500万円以上	151	10.3
9 わからない	97	6.6
(無回答)	94	6.4
合 計	1,468	100.0



Ⅲ 調査結果

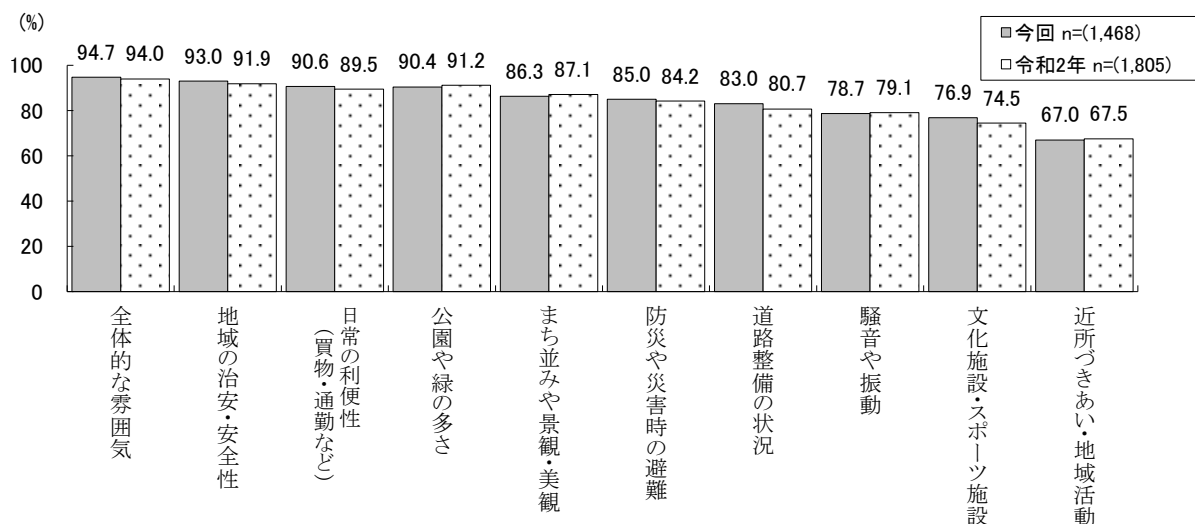
1 お住まいの地域のことについて

問1 定住のきっかけ（複数回答）

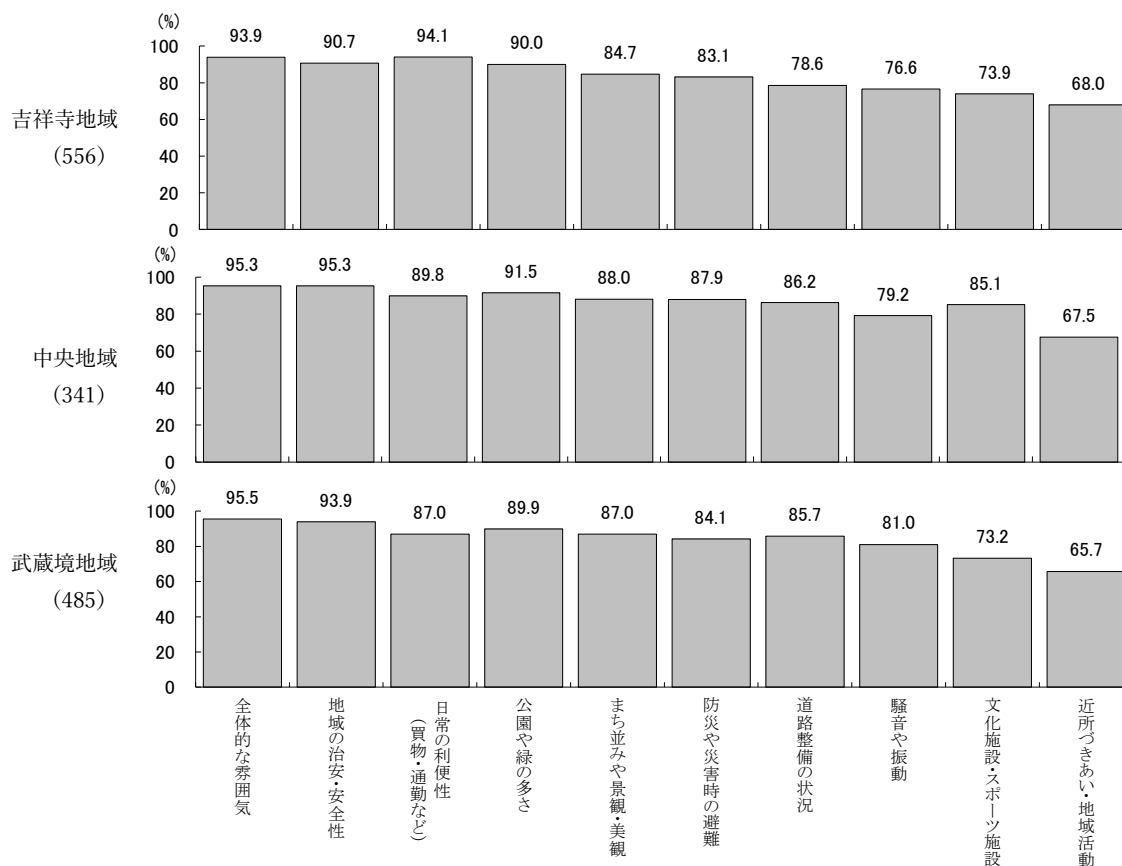


定住のきっかけとしては「交通の便がよい」が51.6%と最も高く、2位の「買い物が便利」（40.0%）、3位の「公園などが整備され、緑が比較的多い」（37.8%）と比べて10ポイント以上高い結果となりました。4位以降は「治安がよい」（32.6%）、「通勤・通学先に近い」（21.9%）、「生まれ育った地域である」（20.7%）と続いています。前回調査と比較すると、1位から4位は変わらず、5位、6位の順位が入れ替わっています。

問2 生活環境の評価（『よい』（「よい」+「まあよい」）の割合）（全体、居住地域別）



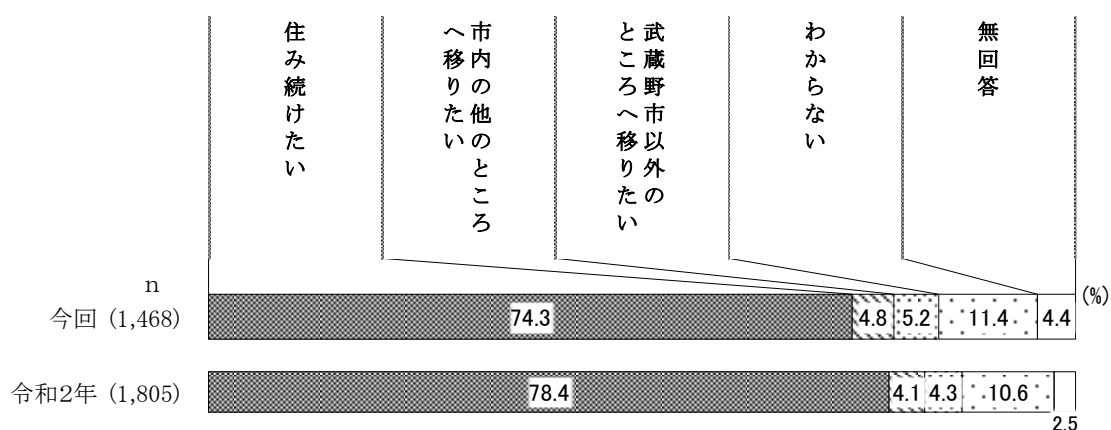
お住まいの地域の生活環境の評価（10項目）については、『よい』は「全体的な雰囲気」（94.7%）が最も高くなりました。次いで、「地域の治安・安全性」（93.0%）、「日常の利便性（買物・通勤など）」（90.6%）、「公園や緑の多さ」（90.4%）、「まち並みや景観・美観」（86.3%）、「防災や災害時の避難」（85.0%）、「道路整備の状況」（83.0%）が80%を超えて高くなっており、前回調査と比較すると、1位、2位は変わらず、3位、4位の順位が入れ替わっています。



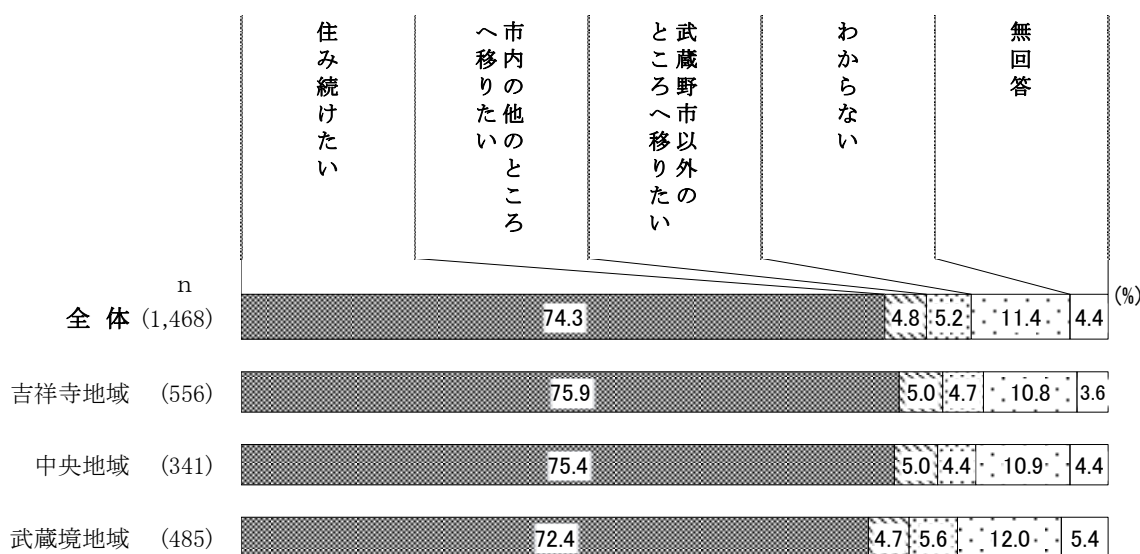
居住地域別で見ると、吉祥寺地域では「日常の利便性（買物・通勤など）」、中央地域では「全体的な雰囲気」と「地域の治安・安全性」、武蔵境地域では「全体的な雰囲気」が最も高くなりました。

また、中央地域では「文化施設・スポーツ施設」（85.1%）が他の地域と比べて高くなりました。

問3 定住意向（全体、居住地域別）

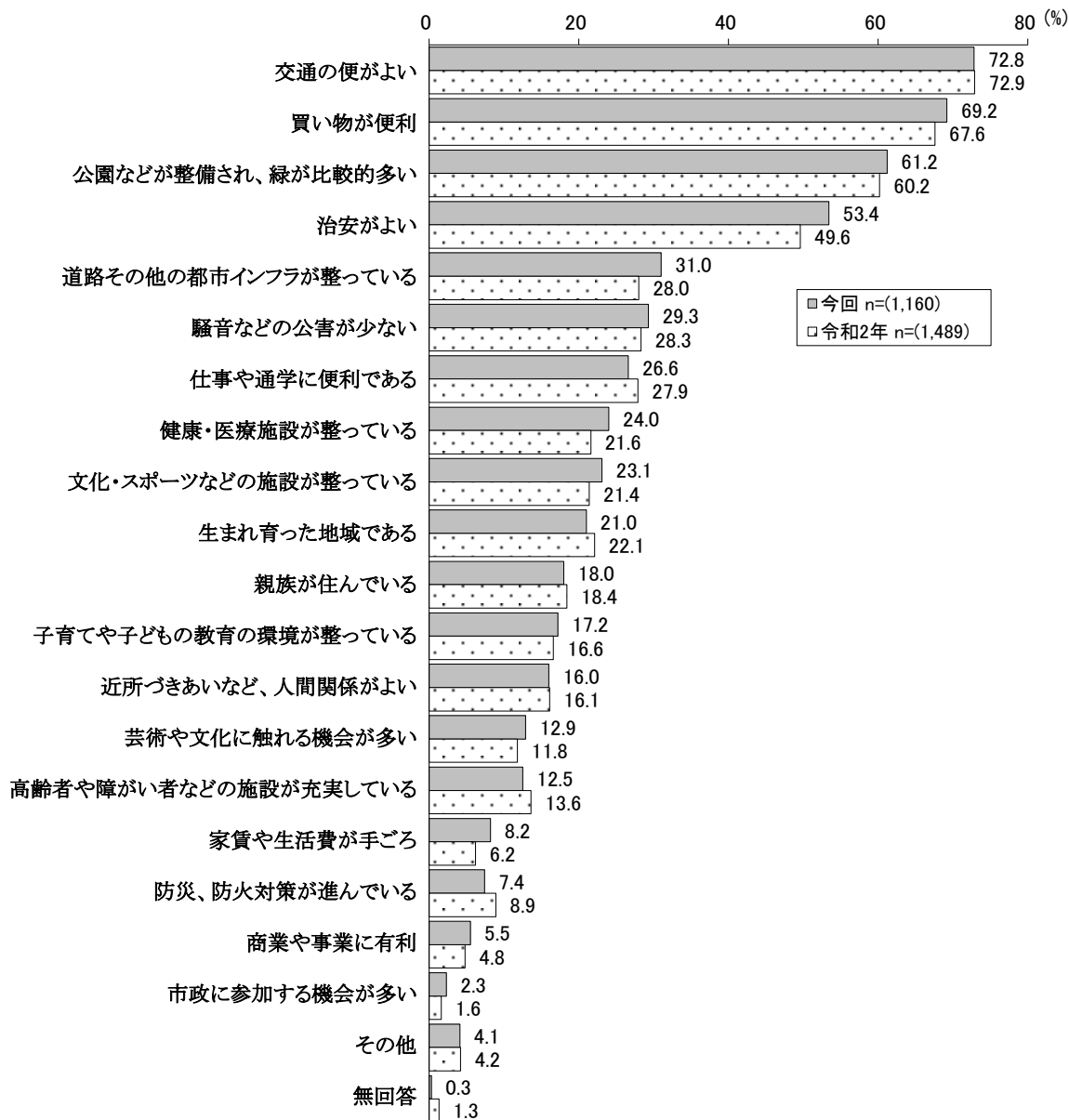


武蔵野市の定住意向については「住み続けたい」が74.3%で最も高くなりました。前回調査と比較すると、4.1ポイント減少しています。「市内の他のところへ移りたい」（4.8%）と合わせると、今後も武蔵野市に住み続けたい方は79.1%という結果となりました。



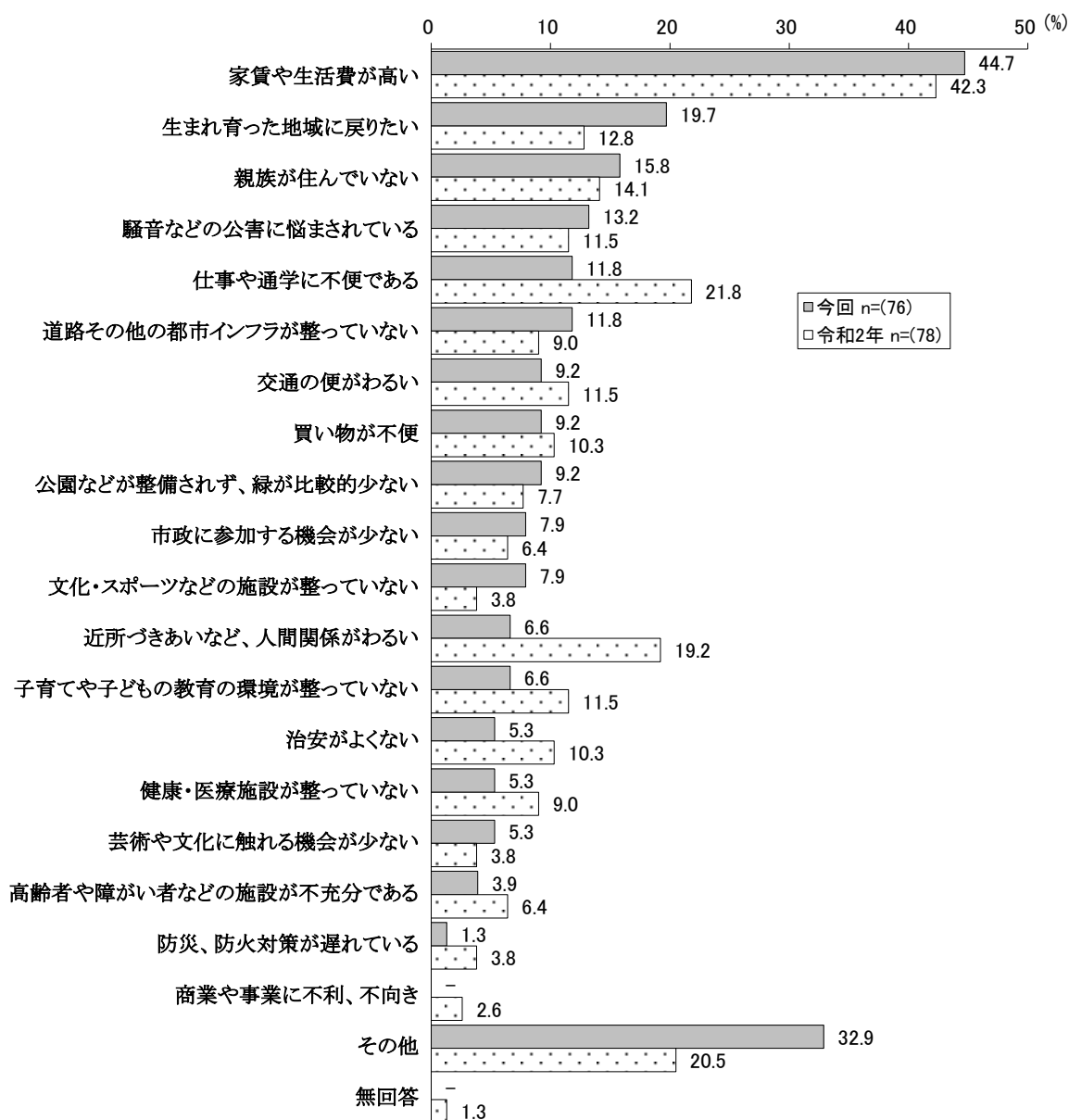
居住地域別では、「住み続けたい」は吉祥寺地域（75.9%）で最も高くなっています。次いで中央地域（75.4%）、武蔵境地域（72.4%）となりました。

問3-1 定住意向の理由（複数回答）



定住意向の理由をうかがったところ、「交通の便がよい」が72.8%と最も高くなりました。次いで「買い物が便利」（69.2%）、「公園などが整備され、緑が比較的多い」（61.2%）までが60%以上の回答を得ています。前回調査と比較すると、上位4項目は変わりませんが、「道路その他の都市インフラが整っている」が3.0ポイント増加し、順位が上がりました。

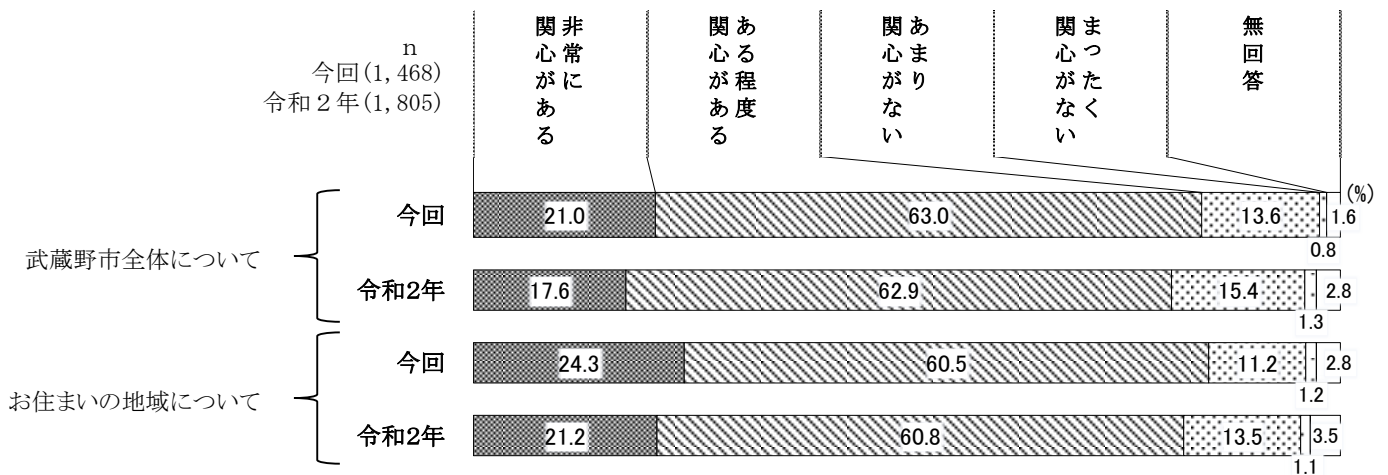
問3-2 転出意向の理由（複数回答）



「武蔵野市以外のところへ移りたい」と回答した76人に転出意向の理由をうかがったところ、「家賃や生活費が高い」が44.7%と最も高くなりました。次いで「生まれ育った地域に戻りたい」（19.7%）、「親族が住んでいない」（15.8%）、「騒音などの公害に悩まされている」（13.2%）が続いています。（その他（32.9%）を除く。）

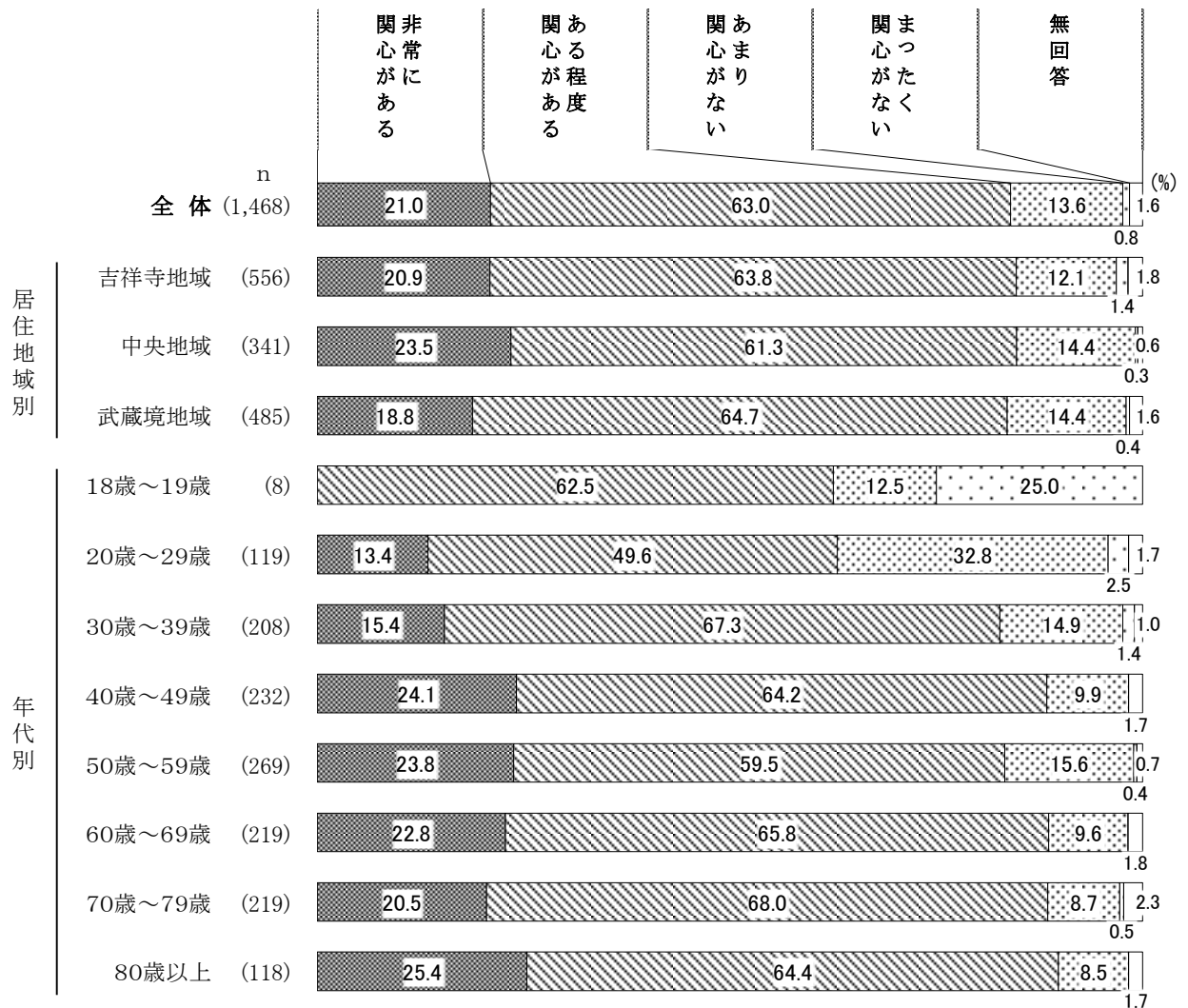
また、「生まれ育った地域に戻りたい」では6.9ポイント増加したのに対し、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」では12.6ポイント、「仕事や通学に不便である」では10.0ポイント減少しています。

問4 武蔵野市全体・お住まいの地域への関心度（全体、居住地域別、年代別）



地域への関心度についてうかがったところ、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》が『武蔵野市全体について』では84.0%、『お住まいの地域について』では84.8%と、ともに80%を超えています。前回調査と比較すると、《関心がある》が『武蔵野市全体について』では3.5ポイント、『お住まいの地域について』では2.8ポイントそれぞれ増加しています。

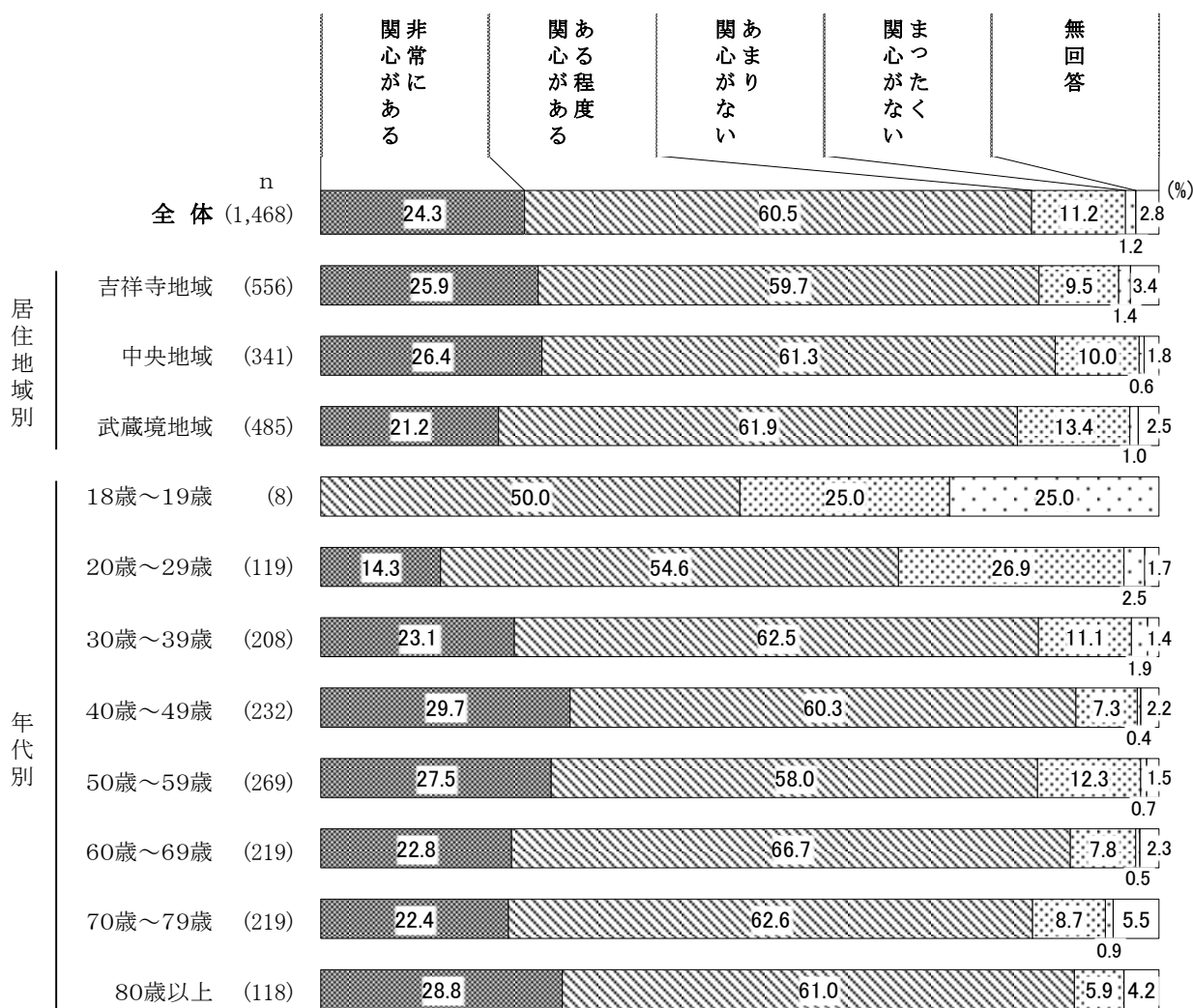
○武蔵野市全体について



武蔵野市全体への関心度を居住地域別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》は吉祥寺地域(84.7%)、中央地域(84.8%)、武蔵境地域(83.5%)と、いずれの地域でも80%を超えています。

年代別では、《関心がある》は、30歳以上の全ての年代で80%を超えています。

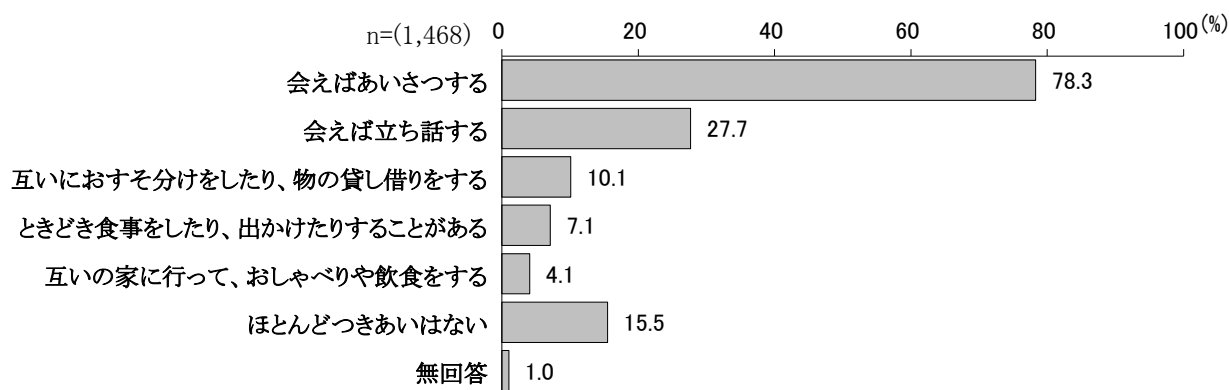
○お住まいの地域について



お住まいの地域についての関心度を居住地域別に見ると、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた《関心がある》は吉祥寺地域(85.6%)、中央地域(87.7%)、武蔵境地域(83.1%)となっており、中央地域が他と比べてやや高くなりました。

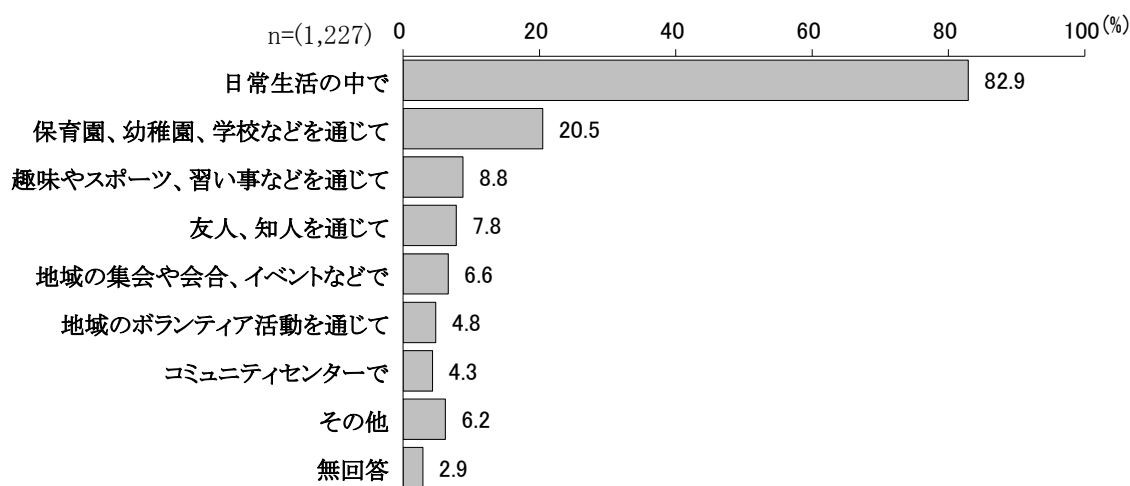
年代別では、《関心がある》は、30歳以上の全ての年代で80%を超えており、40歳～49歳では90.0%となりました。

問5 近隣との交際状況（複数回答）



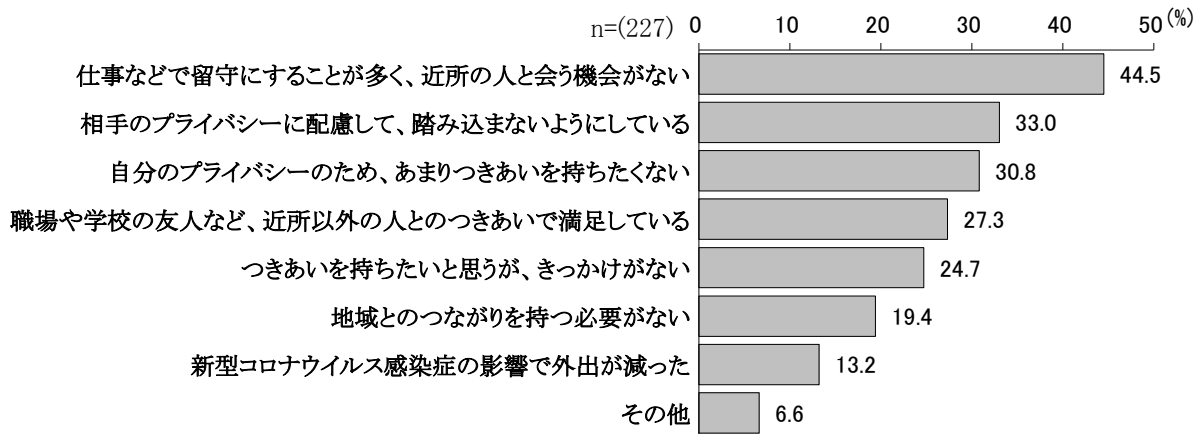
近隣との交際については「会えばあいさつする」が78.3%で最も高く、次いで「会えば立ち話する」が27.7%と続いています。

問5-1 近隣との交際のきっかけ（複数回答）



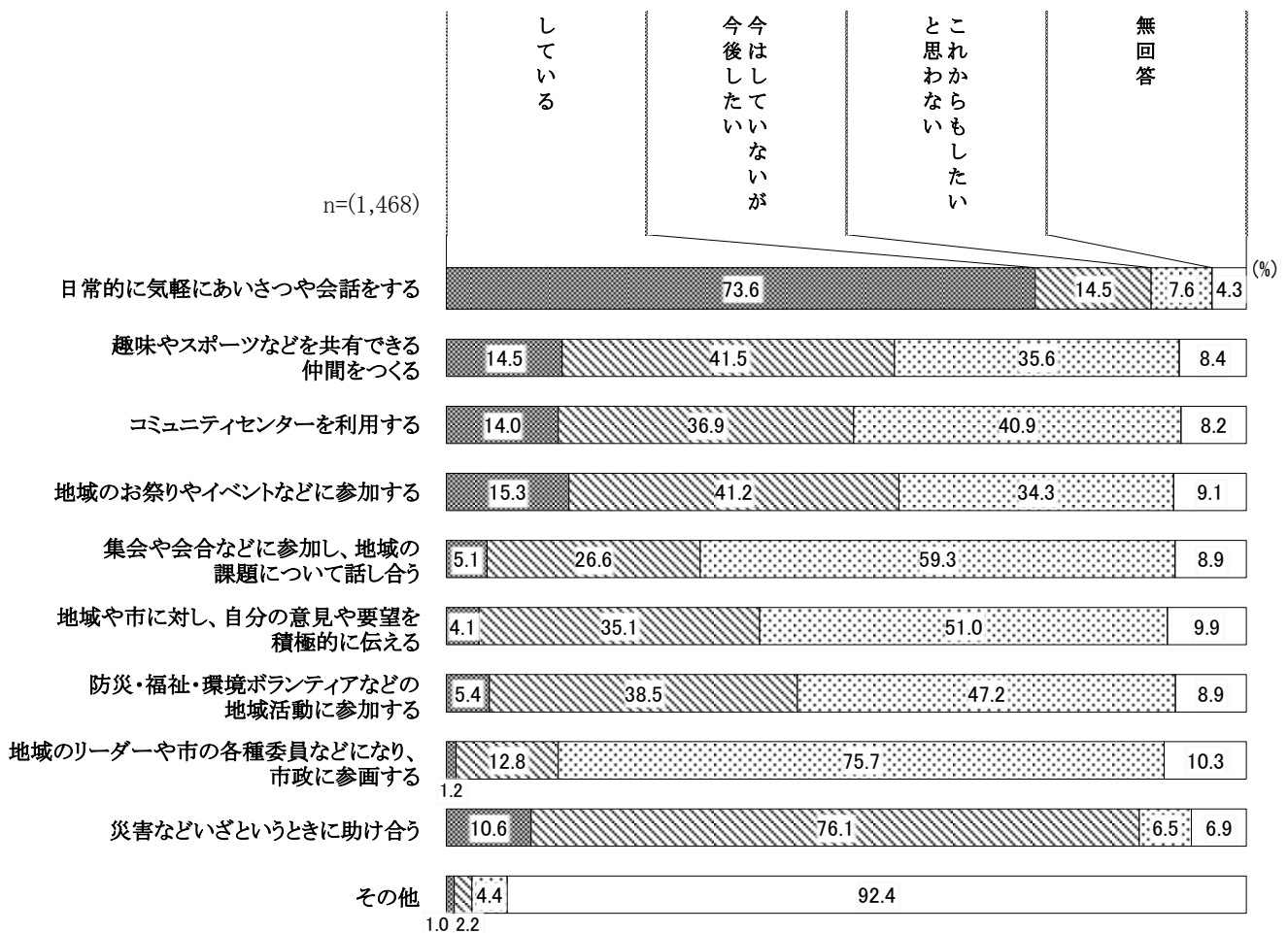
近隣との交際のきっかけは「日常生活の中で」が82.9%で最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校などを通じて」が20.5%と続いています。

問5-2 近隣との交際がない理由（複数回答）



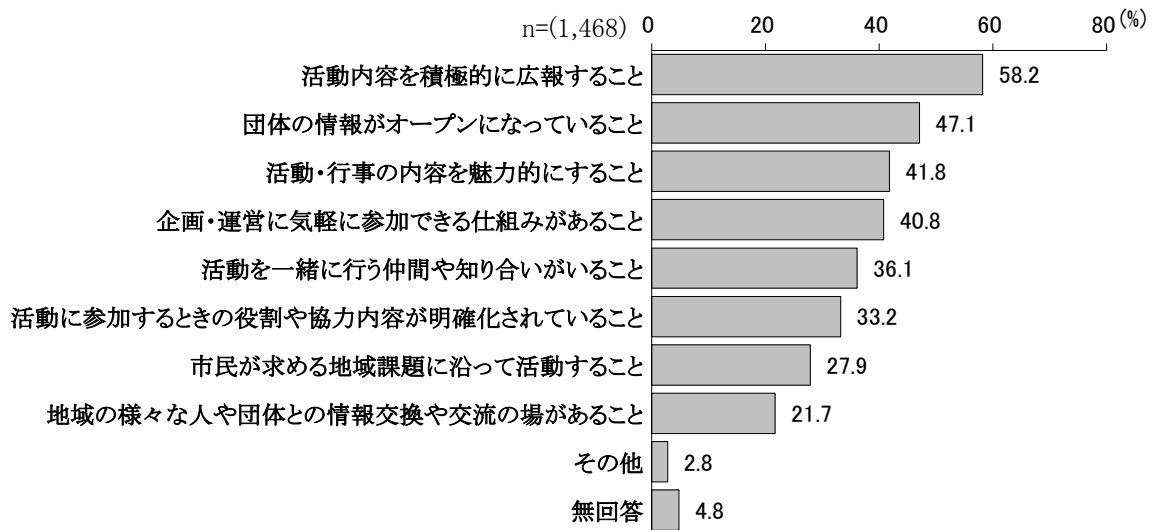
近隣との交際がない理由は「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」が44.5%で最も高く、次いで「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」が33.0%、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」が30.8%と続いています。

問6 地域における行動の状況・意向



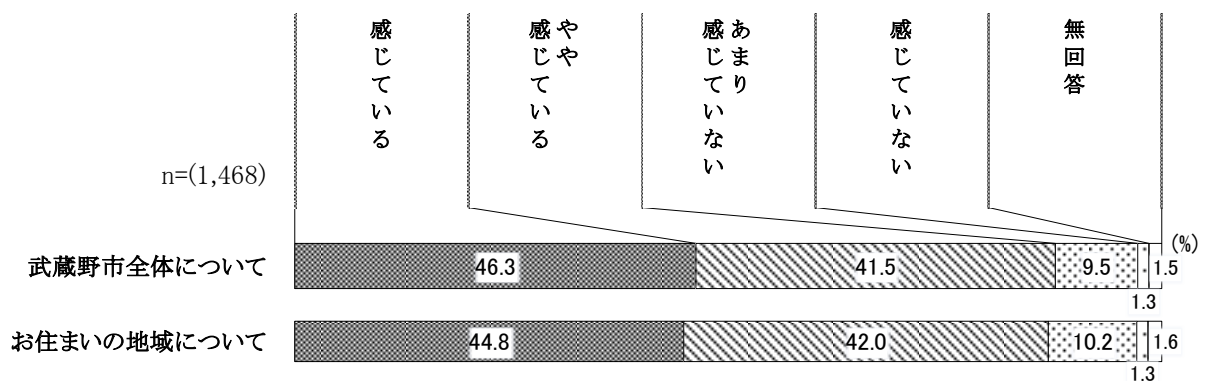
お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのためにしていることや、今後の意向についてうかがったところ、「している」と「今はしていないが今後したい」を合わせた《意向あり》は、『日常的に気軽にあいさつや会話をする』（88.1%）、『災害などいざというときに助け合う』（86.7%）、『地域のお祭りやイベントなどに参加する』（56.5%）、『趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる』（56.0%）、『コミュニティセンターを利用する』（50.9%）で過半数を超えています。

問7 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと（複数回答）



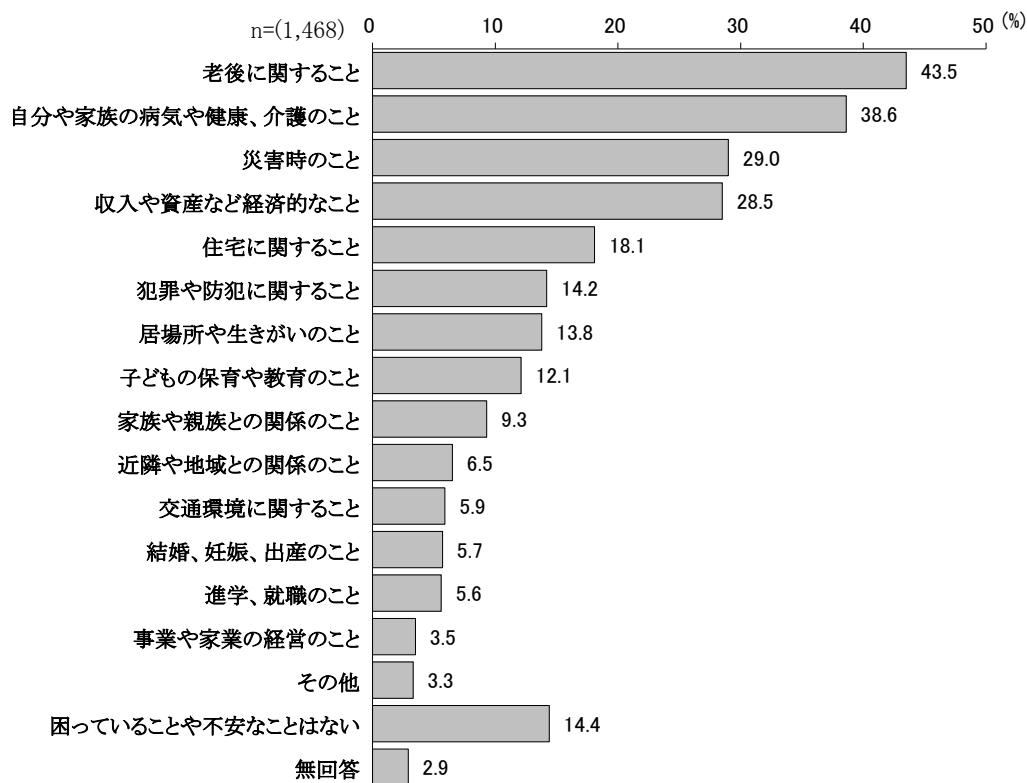
地域の活動の参加者を増やすために必要なことをうかがったところ、「活動内容を積極的に広報すること」が58.2%で最も高く、次いで「団体の情報がオープンになっていること」（47.1%）、「活動・行事の内容を魅力的にすること」（41.8%）と続いています。

問8 地域への誇り・愛着



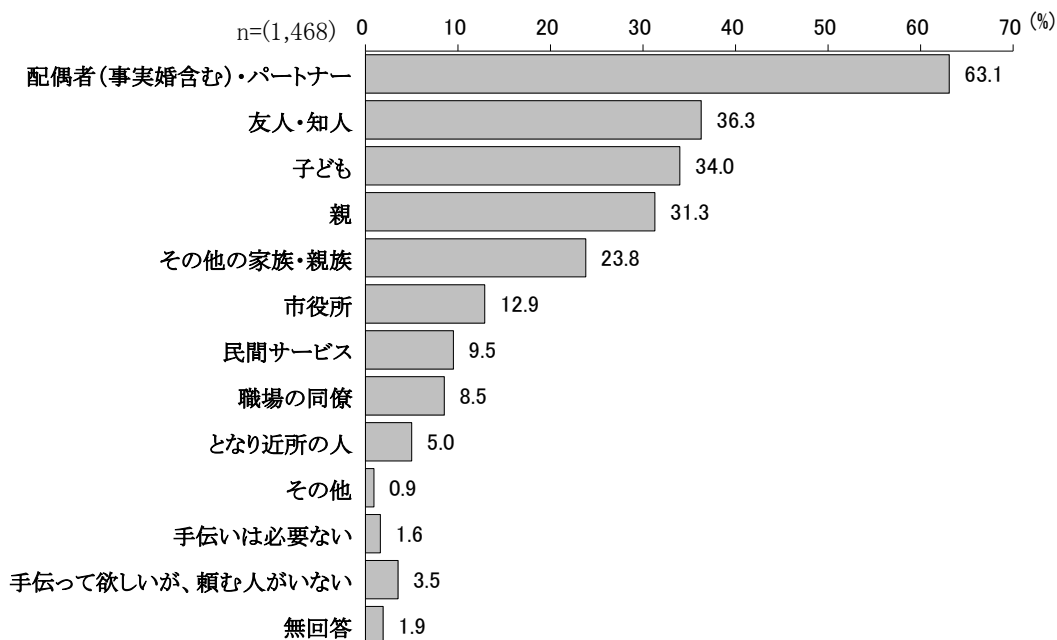
武蔵野市への誇り・愛着についてうかがったところ、「感じている」と「やや感じている」を合わせた《感じている》は、『武蔵野市全体について』では87.8%、『お住まいの地域について』では86.8%となりました。

問9 困っていること・不安なこと（複数回答）



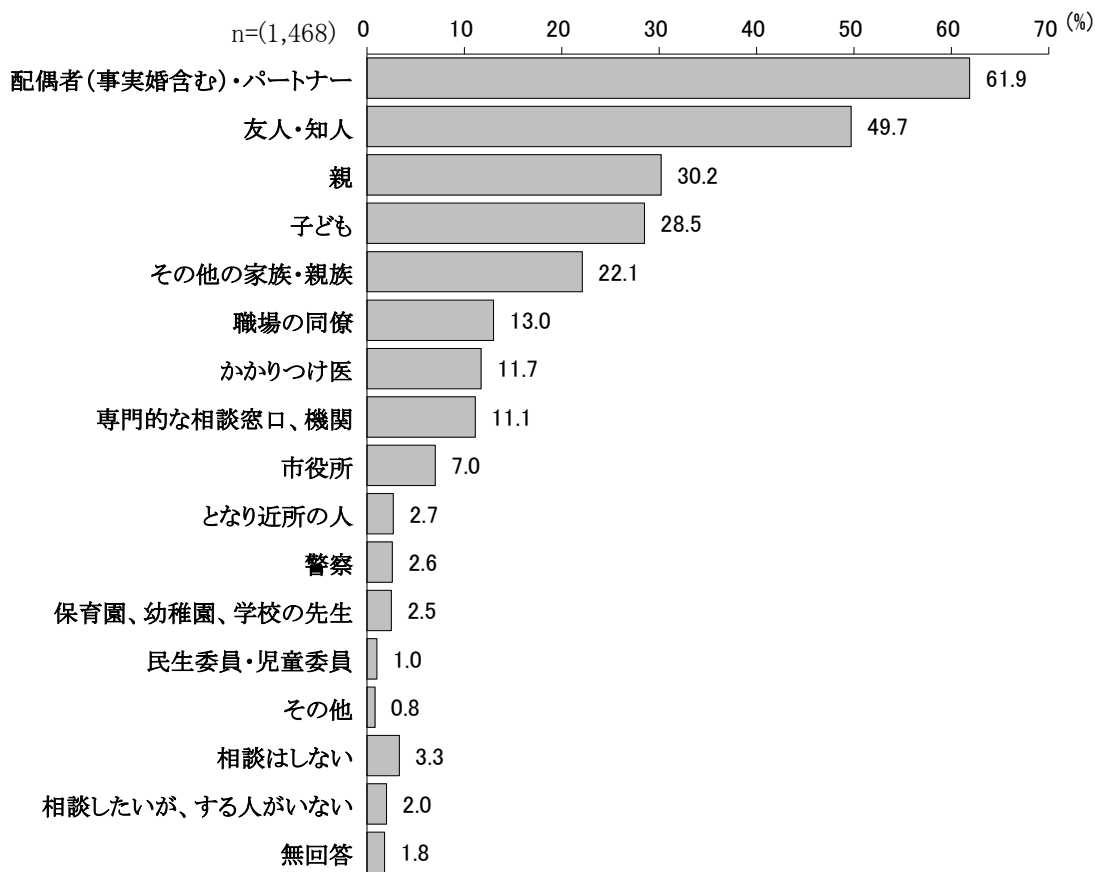
困っていること・不安なことをうかがったところ、「老後に関すること」が43.5%と最も高くなりました。次いで「自分や家族の病気や健康、介護のこと」(38.6%)、「災害時のこと」(29.0%)、「収入や資産など経済的なこと」(28.5%)と続いています。

問10 手伝ってもらう相手（複数回答）



困りごとがあるときに、手伝ってもらう相手をうかがったところ、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が63.1%と最も高く、次いで「友人・知人」(36.3%)、「子ども」(34.0%)、「親」(31.3%)と続いています。

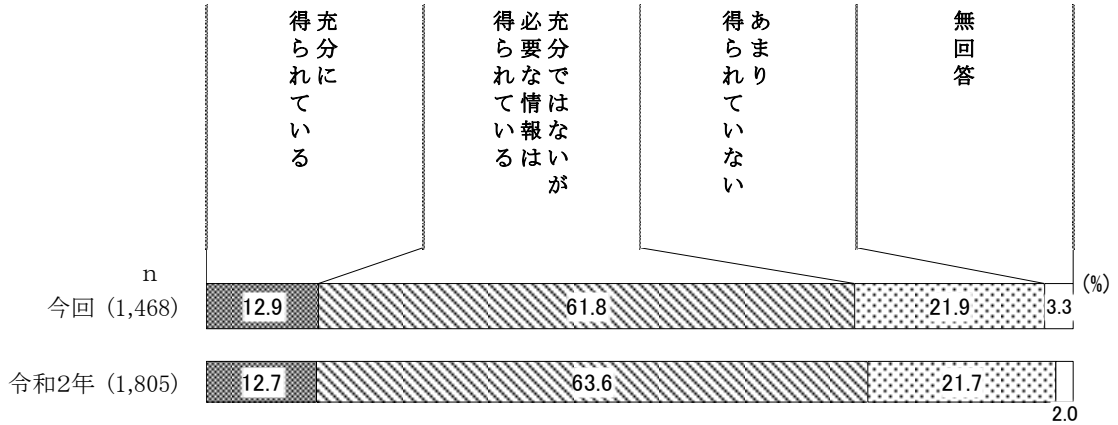
問11 相談相手（複数回答）



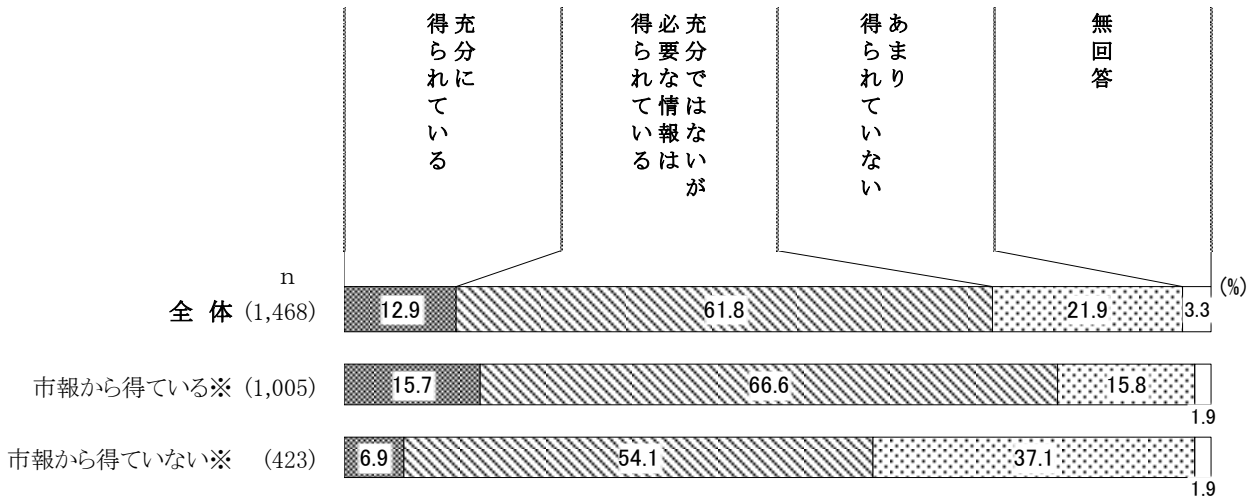
心配ごとや悩みごとができた場合に、話を聞いてもらったり、相談したりする相手をうかがったところ、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が61.9%と最も高く、次いで「友人・知人」（49.7%）、「親」（30.2%）、「子ども」（28.5%）と続いています。

2 市政に関する情報提供などについて

問12 市の情報の入手状況



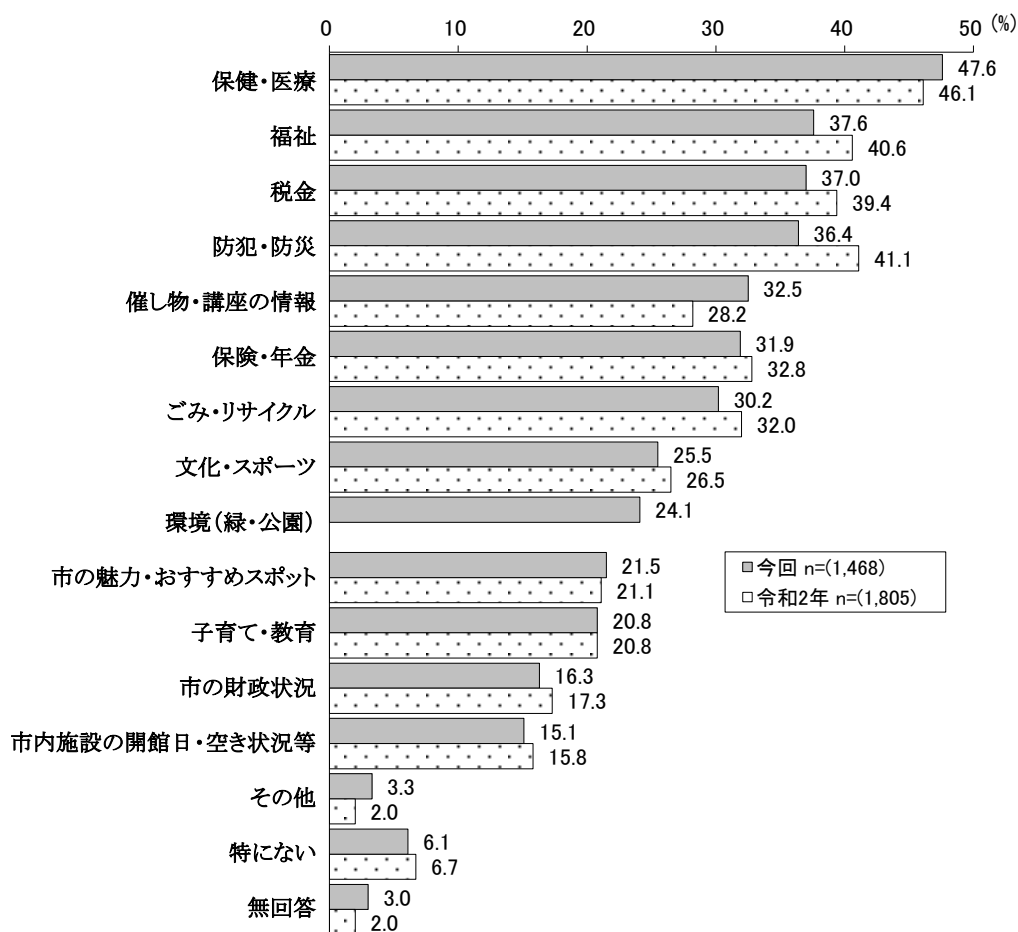
市の情報の入手状況をうかがったところ、「充分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」を合わせると、74.7%となりました。前回調査と比較すると、「充分ではないが必要な情報は得られている」が1.8ポイント減少しています。



※「市報から得ている」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『1. 市報』で「知っている、利用している」と回答した人、「市報から得ていない」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『1. 市報』で「知っているが、利用していない」もしくは「知らない」と回答した人を指しています。

市報からの情報入手の有無別に見ると、「充分ではないが必要な情報は得られている」は市報から得ている人が66.6%なのに対して、市報から得ていない人では54.1%と12.5ポイント低くなりました。また、「あまり得られていない」は、市報から得ていない人で37.1%と高くなりました。

問13 知りたい市政情報（全体、年代別、複数回答）



※今回から「環境（緑・公園）」を新規で追加した。

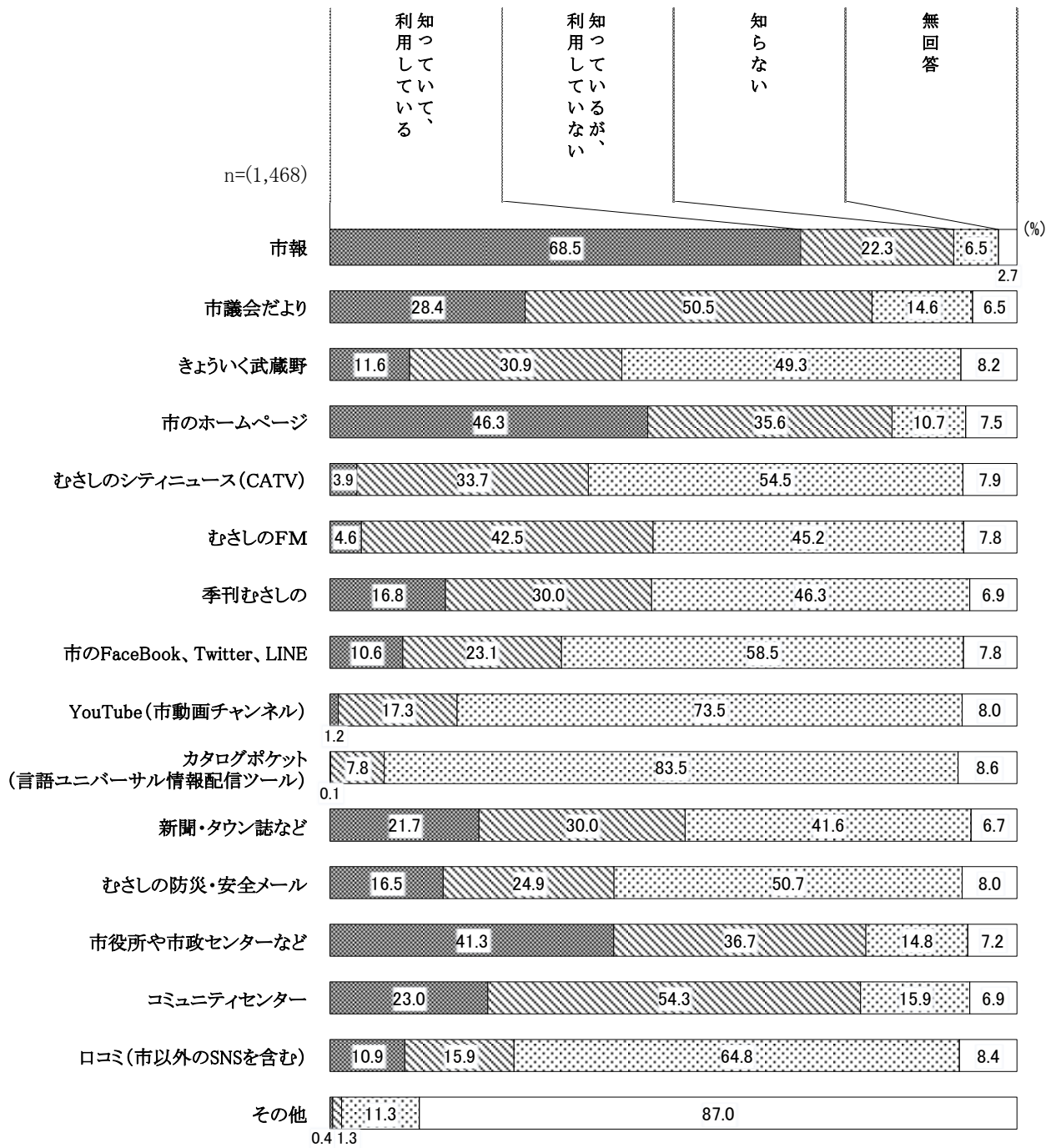
知りたい市政情報としては、「保健・医療」が47.6%と最も高く、次いで「福祉」（37.6%）、「税金」（37.0%）、「防犯・防災」（36.4%）、「催し物・講座の情報」（32.5%）と続いています。前回調査と比較すると、「催し物・講座の情報」は4.3ポイント増加し、「防犯・防災」は4.7ポイント、「福祉」は3.0ポイント減少しています。

(%)

	調査数(n)	保健・医療	福祉	税金	防犯・防災	催し物・講座の情報	保険・年金	ごみ・リサイクル	文化・スポーツ	環境(緑・公園)	市の魅力・おすすめスポット	子育て・教育	市の財政状況	市内施設の開館日・空き状況等	
全体	1,468	47.6	37.6	37.0	36.4	32.5	31.9	30.2	25.5	24.1	21.5	20.8	16.3	15.1	
年代別	18歳～19歳	8	12.5	-	62.5	12.5	-	25.0	-	-	12.5	25.0	12.5	50.0	50.0
	20歳～29歳	119	34.5	31.1	52.1	33.6	34.5	43.7	22.7	25.2	29.4	36.1	31.1	20.2	21.8
	30歳～39歳	208	38.9	21.2	41.3	33.2	37.5	21.6	25.5	28.8	30.8	31.7	53.4	19.2	14.9
	40歳～49歳	232	46.1	36.2	39.7	43.1	45.7	31.9	33.6	37.9	31.0	32.3	42.7	20.3	23.7
	50歳～59歳	269	55.4	42.0	36.8	44.6	32.7	33.5	34.6	32.7	24.9	20.4	10.8	15.2	15.6
	60歳～69歳	219	53.0	47.9	37.4	36.5	28.8	42.0	36.1	21.0	24.2	12.3	3.7	14.2	12.8
	70歳～79歳	219	55.3	47.0	29.7	35.2	29.7	32.0	32.0	16.4	17.8	9.1	3.7	14.6	12.3
	80歳以上	118	47.5	38.1	25.4	31.4	13.6	26.3	28.8	12.7	11.0	11.0	0.8	11.9	2.5

年代別で見ると、「保健・医療」は40歳以上の全ての年代で40%を超えて高くなっており、「福祉」は50歳～79歳で40%を超えて高くなりました。「税金」は18歳～39歳で40%を超え、他の年代と比べて高い割合となっています。

問14 広報媒体の認知状況・市政情報の入手手段



※「むさしのシティニュース(CATV)」は、前は「ジェイコム東京むさしのシティニュース」であった。

※「市のFaceBook、Twitter、LINE」は、前は「市のフェイスブック・ツイッター」であった。

※「ロコミ(市以外のSNSを含む)」は、前は「近所の人などからのロコミ」であった。

※今回から「市議会だより」、「きょういく武蔵野」、「むさしの防災・安全メール」を新規で追加した。

市政情報の広報媒体の認知状況をうかがったところ、「知っている、利用している」は、『市報』で68.5%と最も高く、次いで『市のホームページ』(46.3%)、『市役所や市政センターなど』(41.3%)となりました。

一方、「知らない」は、『カタログポケット(言語ユニバーサル情報配信ツール)』(83.5%)が最も高く、次いで『YouTube(市動画チャンネル)』(73.5%)、『ロコミ(市以外のSNSを含む)』(64.8%)、『市のFaceBook、Twitter、LINE』(58.5%)となりました。

○市政情報の入手手段（年代別）

		(%)																
		調査数(n)	市報	市議会だより	きよついく武蔵野	市のホームページ	むさしのシティニュース(CATV)	むさしのFM	季刊むさしの	市のFaceBook、Twitter、LINE	YouTube(市動画チャンネル)	カタログポケット(言語ユニバーサル情報配信ツール)	新聞・タウン誌など	むさしの防災・安全メール	市役所や市政センターなど	コミュニティセンター	ロコミ(市以外のSNSを含む)	その他
全体		1,468	68.5	28.4	11.6	46.3	3.9	4.6	16.8	10.6	1.2	0.1	21.7	16.5	41.3	23.0	10.9	0.4
年代別	18歳～19歳	8	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	25.0	-	-
	20歳～29歳	119	36.1	16.0	0.8	32.8	-	2.5	5.0	6.7	0.8	-	12.6	7.6	26.9	10.1	9.2	-
	30歳～39歳	208	59.6	27.9	12.0	46.6	0.5	1.4	9.6	16.8	1.4	-	16.8	16.8	38.0	15.9	16.3	1.9
	40歳～49歳	232	79.3	35.3	18.1	62.5	4.7	5.6	18.1	19.8	2.2	0.4	25.0	25.0	47.0	28.0	15.9	0.4
	50歳～59歳	269	74.3	34.6	11.2	53.5	4.8	5.2	19.7	12.6	0.4	0.4	22.7	24.9	43.9	23.0	14.5	0.4
	60歳～69歳	219	76.3	31.1	14.2	58.9	8.2	5.9	20.1	8.7	2.3	-	24.2	14.2	48.4	24.7	9.6	-
	70歳～79歳	219	78.1	26.0	11.9	35.6	4.6	6.8	22.4	4.1	0.9	-	27.4	12.8	45.7	28.8	4.6	-
	80歳以上	118	69.5	25.4	8.5	17.8	2.5	4.2	20.3	1.7	-	-	22.0	5.9	34.7	28.0	3.4	-

市政情報の入手手段について、「知っていて、利用している」と答えた方を年代別に見てみると、『市報』は40歳～79歳で70%を超えて高くなりました。また、『市のホームページ』は40歳～49歳で62.5%と最も高くなっています。

3 市の施策に対する満足度・重要度について

問15 市の施策に対する満足度・重要度（全体、性別、年代別）

市の施策を25項目に分けて、満足度・重要度をお聞きしました。満足度は「ごみ」、「上・下水道」、「文化・学習・スポーツ」、「交通・道路」が60%を超え、「緑化・水辺空間」、「健康づくり」、「生活環境」、「都市基盤整備」も50%を超える値を示しています。また重要度は、「ごみ」、「災害対策」、「安全対策」、「上・下水道」、「健康づくり」、「緑化・水辺空間」が90%を超え、特に高い値を示しています。

（満足度順）

順位	項目	満足度	前回
1	ごみ	74.5 ↑	69.6
2	上・下水道	65.5 ↓	73.0
3	文化・学習・スポーツ	61.4 ↑	59.6
4	交通・道路	61.2 ↓	67.3
5	緑化・水辺空間	59.9 ↓	66.3
6	健康づくり	57.0 ↑	56.4
7	生活環境	54.2 ↑	53.6
8	都市基盤整備※	53.8 ↓	60.3
9	自転車対策	48.6 ↓	49.8
10	安全対策	44.2 ↑	44.0
11	情報の収集・発信	37.6 ↑	37.0
12	市民参加・市民活動	35.5 ↑	28.5
13	災害対策	34.9 ↓	37.7
14	子ども・子育て支援※	31.4 ↑	28.7
15	環境啓発※	30.5	-
16	青少年施策	29.6 ↑	29.4
17	小・中学校教育	27.0 ↑	25.4
17	住宅政策	27.0 ↓	29.0
19	気候変動・地球温暖化対策※	26.1 ↓	29.1
20	地域福祉	26.0 ↓	28.0
21	高齢者福祉	25.0 ↓	27.9
22	平和・多文化共生・国内外交流	24.6 ↑	22.0
23	産業・消費生活	24.1 ↑	22.5
24	行財政改革	23.1 ↓	25.7
25	障がい者福祉	17.4 ↓	20.0

（重要度順）

順位	項目	重要度	前回
1	ごみ	92.0 ↑	90.6
2	災害対策	91.9 ↑	90.9
3	安全対策	91.4 ↑	89.6
4	上・下水道	90.6 ↓	93.3
5	健康づくり	90.5 ↓	91.4
6	緑化・水辺空間	90.0 ↑	88.3
7	生活環境	89.1 ↓	89.5
8	高齢者福祉	88.6 ↓	90.8
9	交通・道路	88.2 ↓	90.6
9	地域福祉	88.2 ↓	90.6
11	自転車対策	87.2 ↓	90.1
12	文化・学習・スポーツ	86.5 ↓	87.2
13	障がい者福祉	86.0 ↓	86.5
14	子ども・子育て支援	85.3 ↓	86.4
15	行財政改革	84.8 ↓	87.9
16	小・中学校教育	84.4 ↓	85.5
17	都市基盤整備	84.1 ↓	87.3
18	気候変動・地球温暖化対策	83.5 ↓	86.0
19	情報の収集・発信	82.6 ↓	85.9
20	産業・消費生活	81.2 ↑	78.6
21	住宅政策	80.1 ↓	82.1
22	青少年施策	79.3 ↓	81.5
23	市民参加・市民活動	77.6 ↑	73.5
24	環境啓発	76.0	-
25	平和・多文化共生・国内外交流	70.2 ↓	70.7

◎満足度・重要度の計算方法

『満足』＝「満足」＋「ある程度満足」 『重要』＝「重要」＋「ある程度重要」

※「都市基盤整備」は、前回調査では「まちづくり・都市整備」であった。

※「子ども・子育て支援」は、前回調査では「子育て支援」であった。

※「環境啓発」は、今回調査にて追加した。

※「気候変動・地球温暖化対策」は、前回調査では「エネルギー・資源」であった。

○ 市の施策に対する満足度

順位	項目	満足度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	ごみ	74.5	75.2	76.5	75.0	56.3	71.1	74.6	73.6	81.3	85.4	85.6
2	上・下水道	65.5	68.4	66.0	62.5	57.2	64.5	70.3	69.5	63.9	70.8	67.0
3	文化・学習・スポーツ	61.4	59.1	65.5	62.5	57.1	65.4	68.5	65.8	56.2	61.6	59.3
4	交通・道路	61.2	59.8	64.6	75.0	62.2	63.5	60.3	61.3	65.3	60.8	66.1
5	緑化・水辺空間	59.9	60.1	62.0	87.5	55.4	65.4	61.2	58.7	60.2	64.8	57.7
6	健康づくり	57.0	53.3	62.1	62.5	39.5	51.0	56.4	61.3	62.5	66.7	62.7
7	生活環境	54.2	55.7	54.9	62.5	44.6	53.4	50.8	55.4	59.3	63.0	56.0
8	都市基盤整備	53.8	54.0	55.7	75.0	66.4	64.4	50.0	56.9	55.3	48.0	44.0
9	自転車対策	48.6	48.4	50.7	50.0	50.4	42.8	54.7	54.6	50.7	50.2	38.2
10	安全対策	44.2	41.8	47.4	25.0	40.4	38.9	46.5	45.0	44.7	47.9	54.2
11	情報の収集・発信	37.6	35.7	41.0	37.5	31.1	38.0	36.2	39.0	39.7	41.5	44.0
12	市民参加・市民活動	35.5	33.9	37.9	25.0	27.8	33.2	38.4	37.2	32.4	40.6	42.4
13	災害対策	34.9	35.3	36.2	37.5	30.2	32.2	37.1	37.6	33.3	41.5	35.6
14	子ども・子育て支援	31.4	31.2	32.6	50.0	19.3	43.8	50.9	40.1	23.7	18.3	8.4
15	環境啓発	30.5	27.8	34.3	37.5	27.8	33.6	35.0	35.3	28.8	29.2	25.4
16	青少年施策	29.6	30.4	30.1	50.0	28.6	23.0	47.8	40.5	24.7	20.5	12.7
17	小・中学校教育	27.0	28.7	26.7	62.5	26.0	20.2	40.1	39.8	24.6	18.7	7.6
17	住宅政策	27.0	30.7	24.6	37.5	30.2	27.4	26.3	25.3	25.6	31.1	27.1
19	気候変動・地球温暖化対策	26.1	26.1	27.6	25.0	23.5	25.5	25.5	32.4	24.2	29.7	25.4
20	地域福祉	26.0	27.5	25.5	25.0	25.2	21.6	25.0	25.6	29.7	29.3	28.8
21	高齢者福祉	25.0	25.8	25.3	25.0	16.8	14.9	18.9	23.8	30.6	34.3	44.0
22	平和・多文化共生・国内外交流	24.6	21.4	27.6	37.5	22.7	23.6	24.6	26.1	24.7	25.6	26.2
23	産業・消費生活	24.1	23.4	25.5	37.5	24.4	24.5	26.8	26.0	24.7	24.7	17.0
24	行財政改革	23.1	26.5	22.2	12.5	18.5	26.0	24.6	24.5	21.9	27.4	21.1
25	障がい者福祉	17.4	20.9	15.1	12.5	18.5	13.9	17.2	19.4	18.7	19.2	15.3

性別で見ると、男性では「ごみ」が満足度1位で75.2%、次いで「上・下水道」、「緑化・水辺空間」がそれぞれ60%を超えて高い割合となりました。女性でも、「ごみ」が満足度第1位で76.5%、次いで「上・下水道」、「文化・学習・スポーツ」、「交通・道路」、「健康づくり」、「緑化・水辺空間」がそれぞれ60%を超えています。

年代別では、20歳～29歳で「都市基盤整備」が満足度1位となり、30歳以上で「ごみ」が満足度1位となりました。

○ 市の施策に対する重要度

順位	項目	重要度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	ごみ	92.0	93.6	94.3	87.5	96.6	92.8	95.3	96.3	97.2	91.8	83.9
2	災害対策	91.9	92.0	94.9	100.0	99.1	95.2	94.0	95.5	95.9	91.3	81.4
3	安全対策	91.4	92.0	94.0	100.0	95.8	96.2	94.9	94.5	94.5	89.5	83.0
4	上・下水道	90.6	91.5	93.3	100.0	93.3	94.3	95.3	98.2	92.7	85.8	82.2
5	健康づくり	90.5	90.0	93.3	100.0	94.1	91.8	94.4	92.1	95.4	91.4	78.0
6	緑化・水辺空間	90.0	91.0	92.5	87.5	95.0	93.8	94.8	92.9	93.1	88.1	82.2
7	生活環境	89.1	89.7	92.5	100.0	95.8	93.8	93.6	92.9	90.9	86.8	82.2
8	高齢者福祉	88.6	88.3	91.1	87.5	81.5	85.6	93.6	91.1	95.4	92.2	82.2
9	交通・道路	88.2	88.1	91.7	100.0	95.8	91.4	92.7	94.4	89.5	84.0	79.6
9	地域福祉	88.2	86.4	91.6	100.0	84.9	86.0	94.4	91.1	94.1	89.5	77.2
11	自転車対策	87.2	87.6	90.5	100.0	90.7	90.4	91.4	93.3	90.8	82.6	80.5
12	文化・学習・スポーツ	86.5	85.4	89.8	100.0	93.3	90.4	89.2	87.7	89.5	86.8	75.5
13	障がい者福祉	86.0	83.2	90.3	75.0	85.7	88.5	91.8	87.0	91.3	85.9	74.6
14	子ども・子育て支援	85.3	84.4	88.0	100.0	94.9	88.0	90.5	86.3	88.2	85.4	66.1
15	行財政改革	84.8	85.6	87.6	87.5	89.1	91.3	89.2	87.3	90.9	81.8	71.2
16	小・中学校教育	84.4	84.0	86.4	100.0	90.7	89.9	91.8	86.6	86.8	81.3	62.8
17	都市基盤整備	84.1	85.0	86.4	100.0	89.1	88.0	87.1	89.6	87.7	79.0	75.5
18	気候変動・地球温暖化対策	83.5	79.8	89.6	100.0	85.7	83.7	89.2	86.2	87.7	83.6	76.2
19	情報の収集・発信	82.6	83.8	84.7	75.0	84.9	86.5	85.7	86.2	88.6	81.8	71.2
20	産業・消費生活	81.2	80.3	84.6	100.0	90.8	83.6	85.4	83.2	87.7	76.7	67.8
21	住宅政策	80.1	79.1	84.5	62.5	86.5	86.1	83.2	81.8	85.4	77.2	75.5
22	青少年施策	79.3	77.6	82.6	100.0	84.9	83.7	84.1	80.7	83.1	79.9	58.5
23	市民参加・市民活動	77.6	76.6	80.5	62.5	80.7	75.4	80.6	79.5	83.5	77.6	73.7
24	環境啓発	76.0	73.0	81.6	87.5	79.0	75.9	78.0	80.7	82.2	75.3	69.5
25	平和・多文化共生・国内外交流	70.2	63.2	77.6	75.0	78.2	72.1	68.5	72.1	74.8	70.4	64.4

性別で見ると、男性では「ごみ」が重要度1位で93.6%、次いで「災害対策」、「安全対策」、「上・下水道」、「緑化・水辺空間」、「健康づくり」が、女性では「災害対策」、「ごみ」、「安全対策」、「上・下水道」、「健康づくり」などが90%を超えています。25項目のうち男性では19項目、女性では24項目が80%を超え高い割合となりました。

年代別では、20歳～29歳で「災害対策」が重要度1位となっており、30歳～39歳で「安全対策」、50歳～59歳で「上・下水道」、40歳～49歳と60歳～69歳で「ごみ」が重要度1位となりました。

○ 市の施策に対するニーズ得点（全体、性別、年代別、プロット図）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めました。

【ニーズ得点】は、「自転車対策」（8.387）が最も高く、「行財政改革」（8.377）が次いで高くなっています。以下、「災害対策」（8.290）、「高齢者福祉」（8.001）、「安全対策」（7.813）、「住宅政策」（7.783）が続いています。

【満足度】(点数順)

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	ごみ	3.136	14	障がい者福祉	2.773
2	文化・学習・スポーツ	3.117	15	都市基盤整備	2.753
3	上・下水道	3.046	16	産業・消費生活	2.751
4	青少年施策	3.021	17	地域福祉	2.735
5	緑化・水辺空間	3.020	18	災害対策	2.703
6	健康づくり	3.001	19	情報の収集・発信	2.699
7	子ども・子育て支援	2.993	19	高齢者福祉	2.699
8	小・中学校教育	2.928	21	気候変動・地球温暖化対策	2.677
9	生活環境	2.820	21	平和・多文化共生・国内外交流	2.667
10	交通・道路	2.819	23	住宅政策	2.589
11	市民参加・市民活動	2.817	24	自転車対策	2.564
12	安全対策	2.814	25	行財政改革	2.498
13	環境啓発	2.799			

最も【満足度】が高いのは〔ごみ〕（3.136）となりました。以下、〔文化・学習・スポーツ〕（3.117）、〔上・下水道〕（3.046）、〔青少年施策〕（3.021）、〔緑化・水辺空間〕（3.020）の順となっています。

一方、最も【満足度】が低いのは〔行財政改革〕（2.498）となり、次いで、〔自転車対策〕（2.564）、〔住宅政策〕（2.589）、〔平和・多文化共生・国内外交流〕（2.667）、〔気候変動・地球温暖化対策〕（2.677）の順となっています。

【重要度】(点数順)

順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	ごみ	3.626	14	行財政改革	3.348
2	災害対策	3.609	15	障がい者福祉	3.340
3	上・下水道	3.593	16	文化・学習・スポーツ	3.323
4	安全対策	3.574	17	都市基盤整備	3.305
5	健康づくり	3.528	18	気候変動・地球温暖化対策	3.290
6	交通・道路	3.484	19	情報の収集・発信	3.263
7	高齢者福祉	3.477	20	住宅政策	3.228
8	生活環境	3.474	21	青少年施策	3.215
9	子ども・子育て支援	3.461	22	産業・消費生活	3.152
10	緑化・水辺空間	3.459	23	環境啓発	3.062
11	自転車対策	3.443	24	市民参加・市民活動	3.029
12	小・中学校教育	3.408	25	平和・多文化共生・国内外交流	2.898
13	地域福祉	3.393			

最も【重要度】が高いのは〔ごみ〕（3.626）となっています。以下、〔災害対策〕（3.609）、〔上・下水道〕（3.593）、〔安全対策〕（3.574）、〔健康づくり〕（3.528）の順となりました。一方、最も【重要度】が低いのは〔平和・多文化共生・国内外交流〕（2.898）となり、次いで〔市民参加・市民活動〕（3.029）、〔環境啓発〕（3.062）の順となりました。

【ニーズ得点】(得点順)

順位	項目	ニーズ 得点	順位	項目	ニーズ 得点
1	自転車対策	8.387	14	産業・消費生活	7.089
2	行財政改革	8.377	15	小・中学校教育	7.061
3	災害対策	8.290	16	健康づくり	7.052
4	高齢者福祉	8.001	17	上・下水道	7.021
5	安全対策	7.813	18	子ども・子育て支援	6.946
6	住宅政策	7.783	19	緑化・水辺空間	6.849
7	地域福祉	7.685	20	平和・多文化共生・国内外交流	6.761
8	気候変動・地球温暖化対策	7.643	21	ごみ	6.759
9	交通・道路	7.599	22	環境啓発	6.739
10	生活環境	7.573	23	市民参加・市民活動	6.612
11	情報の収集・発信	7.508	24	青少年施策	6.362
12	障がい者福祉	7.438	25	文化・学習・スポーツ	6.257
13	都市基盤整備	7.426			

*ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）で計算。
例：「自転車対策」について寄せられた回答数は以下の表のとおり。

①【満足度（加重平均）】

（4点×163件＋3点×551件＋2点×292件＋1点×198件）÷1,204（合計件数）＝2.564

②【重要度（加重平均）】

（4点×715件＋3点×565件＋2点×69件＋1点×20件）÷1,369（合計件数）＝3.443

③【ニーズ得点】

3.443×（5－2.564）＝**8.387**

点数	満足度				重要度										
	4	3	2	1	4	3	2	1							
回答選択肢	満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	あまり満足 していない	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある程度	重要でない	あまり重要でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	163	551	292	198	1,204	193	71	2.564	715	565	69	20	1,369	99	3.443

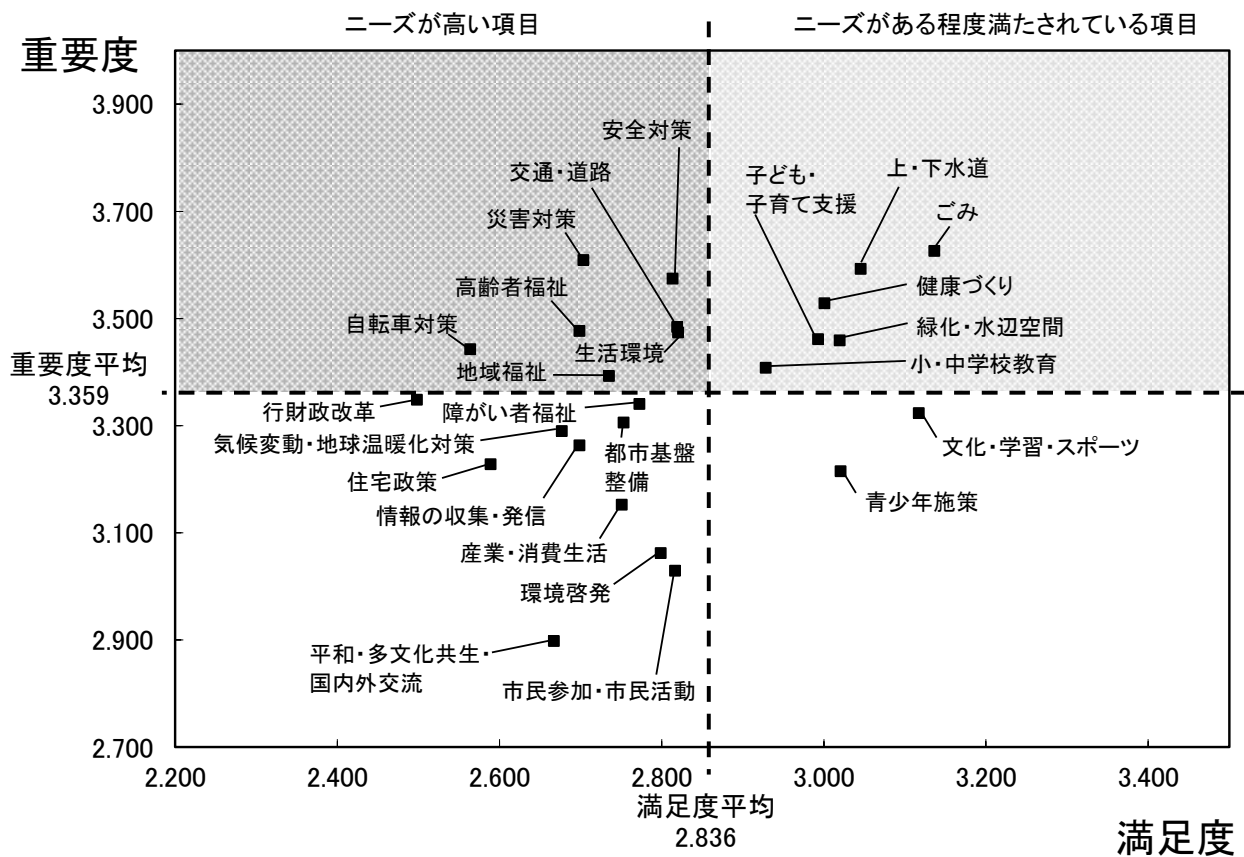
【ニーズ得点】(性別・年代別)

順位	項目	ニーズ得点	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	自転車対策	8.387	1位	1位	4位	2位	1位	2位	3位	4位	3位	1位
2	行財政改革	8.377	2位	2位	6位	8位	4位	3位	2位	1位	1位	5位
3	災害対策	8.290	3位	3位	2位	1位	3位	1位	4位	3位	5位	2位
4	高齢者福祉	8.001	4位	4位	11位	22位	15位	6位	1位	2位	2位	3位
5	安全対策	7.813	5位	6位	1位	5位	5位	5位	9位	10位	8位	9位
6	住宅政策	7.783	8位	5位	15位	11位	2位	11位	7位	5位	11位	7位
7	地域福祉	7.685	9位	7位	7位	12位	21位	12位	5位	8位	4位	4位
8	気候変動・地球温暖化対策	7.643	13位	8位	3位	20位	19位	8位	12位	6位	7位	6位
9	交通・道路	7.599	7位	11位	20位	9位	8位	4位	8位	14位	6位	17位
10	生活環境	7.573	10位	9位	23位	4位	7位	7位	6位	12位	14位	11位
11	情報の収集・発信	7.508	6位	13位	12位	7位	10位	10位	11位	9位	12位	14位
12	障がい者福祉	7.438	15位	10位	15位	14位	17位	13位	14位	7位	9位	8位
13	都市基盤整備	7.426	11位	12位	14位	23位	13位	9位	10位	11位	10位	10位
14	産業・消費生活	7.089	12位	20位	17位	16位	16位	14位	15位	19位	16位	12位
15	小・中学校教育	7.061	14位	16位	10位	18位	6位	15位	18位	18位	14位	21位
16	健康づくり	7.052	17位	15位	7位	10位	14位	18位	13位	16位	21位	19位
17	上・下水道	7.021	18位	14位	18位	15位	11位	17位	19位	13位	20位	16位
18	子ども・子育て支援	6.946	16位	17位	5位	3位	9位	23位	21位	15位	13位	13位
19	緑化・水辺空間	6.849	19位	18位	21位	21位	20位	20位	16位	20位	19位	18位
20	平和・多文化共生・国内外交流	6.761	20位	22位	19位	13位	18位	16位	20位	24位	18位	23位
21	ごみ	6.759	22位	19位	25位	6位	12位	19位	17位	21位	25位	24位
22	環境啓発	6.739	21位	21位	13位	25位	25位	22位	22位	17位	17位	15位
23	市民参加・市民活動	6.612	23位	23位	22位	17位	23位	21位	23位	23位	22位	20位
24	青少年施策	6.362	24位	25位	9位	24位	22位	24位	24位	22位	23位	25位
25	文化・学習・スポーツ	6.257	25位	24位	24位	19位	24位	25位	25位	25位	24位	22位

性別にみると、いずれも「自転車対策」が第1位、「行財政改革」が第2位、「災害対策」が第3位、「高齢者福祉」が第4位、男性では「安全対策」が第5位、女性では「住宅政策」が第5位となりました。

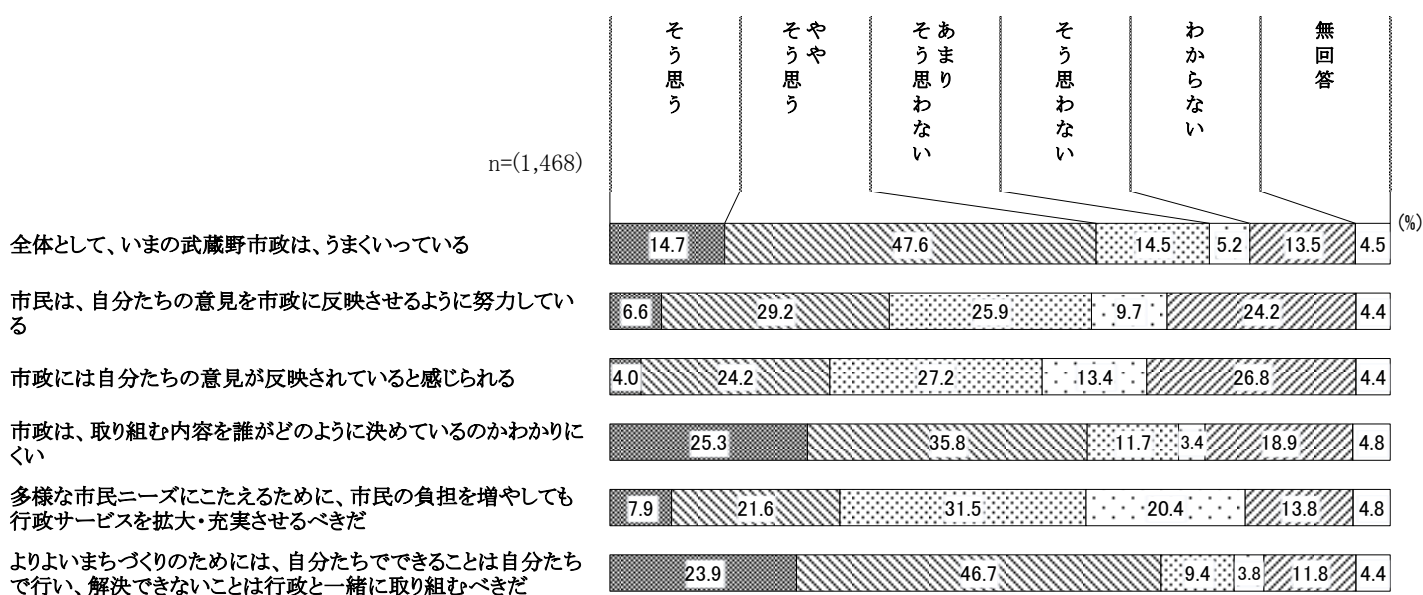
年代別では、20歳～29歳と40歳～49歳で「災害対策」が第1位、50歳～59歳で「高齢者福祉」が第1位、60歳～69歳と70歳～79歳で「行財政改革」が第1位となりました。

【プロット図】



上のプロット図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、『自転車対策』や『高齢者福祉』、『災害対策』、『地域福祉』、『安全対策』、『交通・道路』、『生活環境』となりました。一方、『ごみ』、『上・下水道』、『緑化・水辺空間』、『健康づくり』、『子ども・子育て支援』、『小・中学校教育』は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目となっています。

問16 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点についてうかがったところ、『全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている』は、「そう思う」（14.7%）と「ややそう思う」（47.6%）を合わせた《そう思う》が62.3%と過半数を超えています。

『市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している』は、「あまりそう思わない」（25.9%）と「そう思わない」（9.7%）を合わせた《そう思わない》（35.6%）が、《そう思う》（35.8%）と同程度となりました。

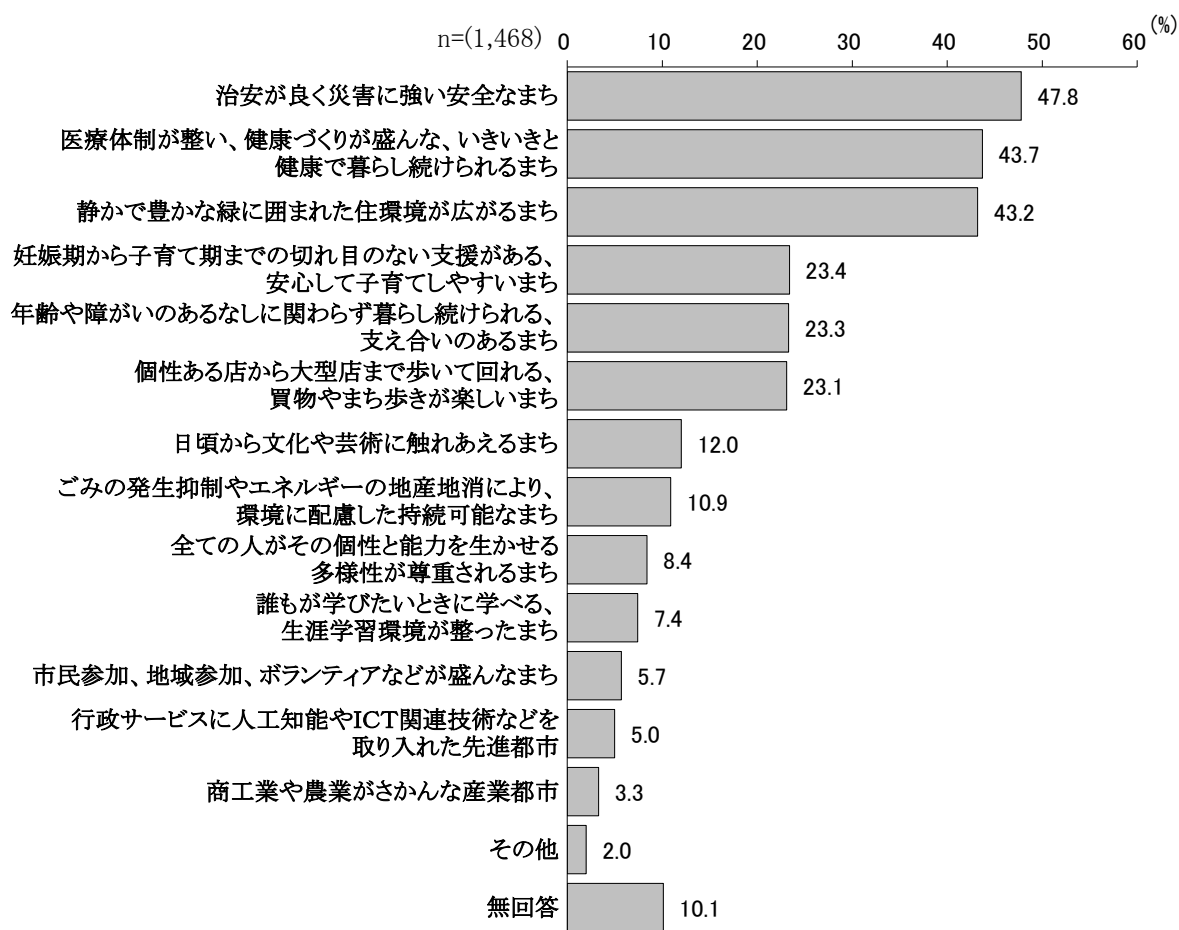
『市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる』は、《そう思わない》（40.6%）が《そう思う》（28.2%）を12.4ポイント上回っています。

『市政は、取り組む内容を誰がどのように決めているのかわかりにくい』は《そう思う》が61.1%と過半数を超えています。

『多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ』は、《そう思わない》が51.9%と過半数を超えています。

『よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒にとりくむべきだ』は、《そう思う》が70.6%と過半数を超えています。

問17 武蔵野市の将来像（複数回答）



武蔵野市の将来像としては、「治安が良く災害に強い安全なまち」が47.8%で最も高く、次いで「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」(43.7%)、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」(43.2%)、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」(23.4%)などが続いています。

4 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度などについて

問18 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度（全体、性別、年代別）

市の施策を27項目に分けて、満足度をお聞きしました。満足度は「くらし地域応援券（令和3年度実施）」が最も高く69.7%、次いで「ワクチン接種体制の整備」（67.3%）、「新型コロナウイルス感染症に関する情報提供」（47.3%）が続いています。

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	くらし地域応援券 （令和3年度実施）	69.7	15	就学援助費	14.1
2	ワクチン接種体制の整備	67.3	15	学校のICT学習環境の拡充	14.1
3	新型コロナウイルス感染症に関する 情報提供	47.3	17	介護保険料の減免	13.5
4	感染者数情報の公表	42.5	18	高等学校等修学給付金	12.5
5	公共施設の利用制限	34.0	19	中小企業者等特別支援金 （令和3年度実施）	10.5
6	統一的な対応方針の公表	29.0	20	新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金	10.0
7	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	22.3	21	高齢者等緊急訪問介護の拡充 （レスキューヘルパー）	9.6
8	子育て世帯への臨時特別給付金	21.0	22	福祉体制を維持するための支援金	9.0
9	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金	18.7	23	ふるさと納税を活用した市内医療体制 への支援	8.7
10	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャ ブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続	16.6	24	中小規模事業者事業資金融資 あっせん制度	7.3
11	キャッシュレス決済ポイント還元事業 （令和3年度実施）	16.4	25	商店会活性出店支援金	6.7
11	自宅療養者に対する支援	16.4	26	住居確保給付金	6.1
13	国民健康保険税の減免	15.4	27	事業者支援「ほっとらいん」	4.5
14	後期高齢者医療保険料の減免	14.3			

◎満足度の計算方法

『満足』＝「満足」＋「ある程度満足」

○ 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度

順位	項目	満足度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1	くらし地域応援券 (令和3年度実施)	69.7	66.4	76.2	62.5	68.9	77.9	80.6	73.6	68.1	68.9	57.7
2	ワクチン接種体制の整備	67.3	66.4	71.5	37.5	63.0	61.5	67.2	68.4	74.4	78.6	68.6
3	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	47.3	44.5	51.9	25.0	46.2	48.1	51.3	52.1	50.7	42.0	50.0
4	感染者数情報の公表	42.5	39.2	47.4	50.0	44.5	43.8	47.9	46.1	41.5	38.4	45.8
5	公共施設の利用制限	34.0	31.1	38.4	37.5	30.3	39.0	35.8	34.9	29.7	38.4	37.3
6	統一的な対応方針の公表	29.0	27.0	32.1	37.5	35.3	32.7	33.6	32.3	28.3	21.5	25.4
7	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	22.3	23.3	22.6	12.5	19.3	18.8	18.1	16.7	23.7	34.7	33.9
8	子育て世帯への臨時特別給付金	21.0	19.5	22.8	12.5	18.4	27.9	35.8	18.6	16.0	14.6	14.4
9	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金	18.7	16.6	20.8	12.5	16.8	13.0	20.3	13.0	25.6	22.9	26.3
10	高齢者支援事業(テンミリオンハウス、 レモンキャブ、いきいきサロン、 不老体操など)の再開・継続	16.6	15.2	18.6	-	11.8	9.6	12.1	14.9	18.2	27.3	30.5
11	キャッシュレス決済ポイント還元事業 (令和3年度実施)	16.4	16.3	17.5	-	23.5	24.6	22.0	19.4	12.7	7.3	8.4
11	自宅療養者に対する支援	16.4	15.8	17.8	37.5	17.6	20.7	22.4	19.0	12.7	11.9	10.2
13	国民健康保険税の減免	15.4	14.9	16.0	25.0	11.7	11.6	12.1	12.3	19.2	22.9	19.5
14	後期高齢者医療保険料の減免	14.3	14.5	14.7	12.5	11.7	8.1	8.2	13.0	16.0	24.2	23.7
15	就学援助費	14.1	14.1	14.6	-	10.9	12.5	19.8	15.2	11.9	12.8	16.9
15	学校のICT学習環境の拡充	14.1	12.9	15.2	12.5	11.8	14.9	27.2	16.4	9.6	7.3	6.8
17	介護保険料の減免	13.5	12.9	14.5	25.0	10.1	8.1	9.5	11.9	18.2	20.1	19.5
18	高等学校等修学給付金	12.5	12.8	12.9	-	10.1	11.0	13.0	13.4	13.7	11.8	16.9
19	中小企業者等特別支援金 (令和3年度実施)	10.5	11.7	9.7	12.5	8.4	12.0	11.2	5.6	17.3	8.2	12.7
20	新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金	10.0	10.7	9.9	-	12.6	11.0	7.7	8.9	10.0	11.8	12.7

順位	項目	満足度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
21	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	9.6	9.7	9.7	-	9.2	6.7	7.8	7.8	9.6	13.2	18.6
22	福祉体制を維持するための支援金	9.0	9.4	9.3	-	7.6	8.2	10.8	7.8	10.9	9.6	10.2
23	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	8.7	9.5	8.6	12.5	12.6	11.6	9.9	9.6	7.7	5.5	5.9
24	中小規模事業者事業資金 融資あっせん制度	7.3	9.0	6.5	-	8.4	8.6	8.7	4.9	12.3	4.2	7.6
25	商店会活性化出店支援金	6.7	7.6	6.2	-	7.6	9.2	7.3	3.7	7.3	5.5	10.1
26	住居確保給付金	6.1	7.0	5.8	12.5	9.3	8.2	8.2	4.0	7.3	3.7	4.2
27	事業者支援「ほっとらいん」	4.5	5.8	3.7	-	8.4	6.3	5.2	2.6	5.0	2.3	5.1

性別で見ると、いずれも「暮らし地域応援券（令和3年度実施）」、「ワクチン接種体制の整備」、「新型コロナウイルス感染症に関する情報提供」の満足度が高くなりました。

年代別では、20歳～29歳で「統一的な対応方針の公表」が高くなっているほか、60歳～80歳以上で「ワクチン接種体制の整備」が他と比べて高くなりました。

○ 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度（全体、性別、年代別）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】として求めました。

※【満足度（加重平均）】の計算方法は、30ページの①をご参照ください。

【満足度】(点数順)

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	くらし地域応援券(令和3年度実施)	3.272	15	キャッシュレス決済ポイント還元事業(令和3年度実施)	2.597
2	ワクチン接種体制の整備	3.128	16	学校のICT学習環境の拡充	2.594
3	高齢者支援事業(テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続	2.845	17	商店会活性出店支援金	2.589
4	子育て世帯への臨時特別給付金	2.746	18	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	2.587
5	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	2.718	19	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	2.579
5	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	2.718	20	高齢者等緊急訪問介護の拡充(レスキューヘルパー)	2.576
7	就学援助費	2.700	21	福祉体制を維持するための支援金	2.563
8	中小企業者等特別支援金(令和3年度実施)	2.697	22	住居確保給付金	2.529
9	感染者数情報の公表	2.694	22	介護保険料の減免	2.529
10	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金	2.679	24	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	2.527
11	自宅療養者に対する支援	2.668	25	国民健康保険税の減免	2.526
12	公共施設の利用制限	2.636	26	後期高齢者医療保険料の減免	2.514
13	高等学校等修学給付金	2.620	27	事業者支援「ほっとらいん」	2.409
14	統一的な対応方針の公表	2.602			

最も【満足度】が高いのは〔くらし地域応援券(令和3年度実施)〕(3.272)となりました。以下、〔ワクチン接種体制の整備〕(3.128)、〔高齢者支援事業(テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続〕(2.845)の順となりました。

一方、最も【満足度】が低いのは〔事業者支援「ほっとらいん」〕(2.409)となり、次いで、〔後期高齢者医療保険料の減免〕(2.514)、〔国民健康保険税の減免〕(2.526)の順となりました。

【満足度】(性別・年代別)

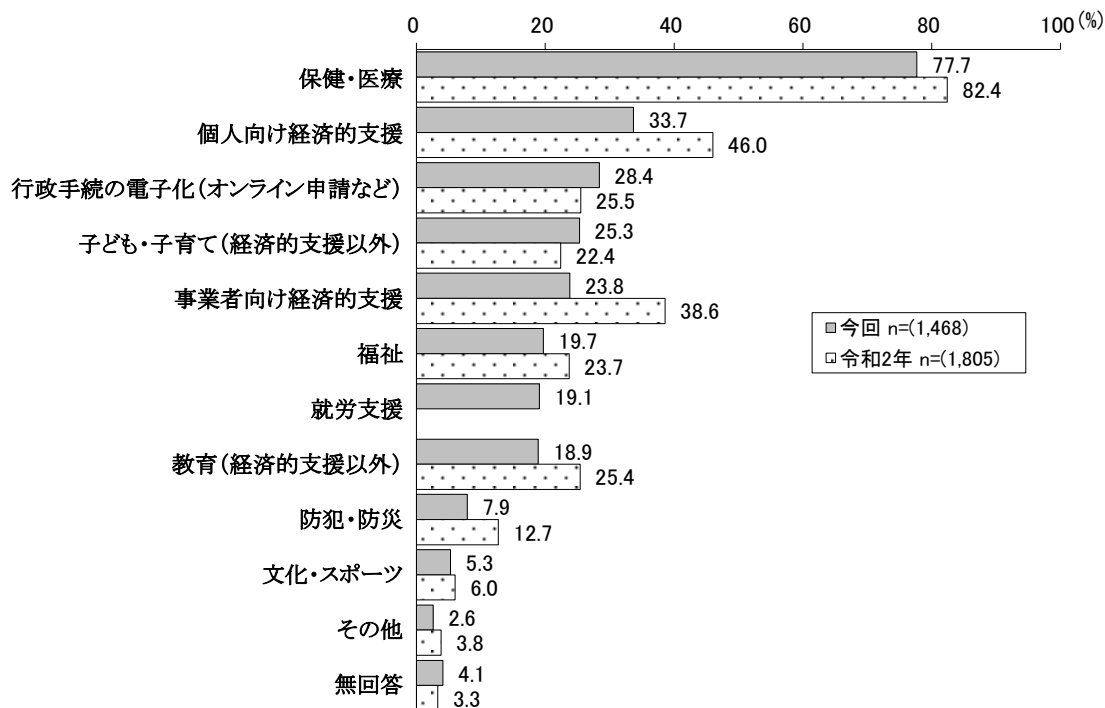
順位	項目	満足度	男性	女性	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	80歳 以上
1	くらし地域応援券(令和3年度実施)	3.272	1位	1位	2位	1位	1位	1位	1位	2位	2位	2位
2	ワクチン接種体制の整備	3.128	2位	2位	3位	2位	2位	2位	2位	1位	1位	1位
3	高齢者支援事業(テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続	2.845	3位	3位	18位	4位	11位	3位	3位	7位	3位	7位
4	子育て世帯への臨時特別給付金	2.746	8位	5位	1位	16位	6位	18位	12位	5位	6位	10位
5	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	2.718	10位	4位	12位	16位	23位	4位	20位	3位	7位	8位
5	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	2.718	5位	8位	17位	15位	9位	14位	5位	6位	14位	11位
7	就学援助費	2.700	14位	6位	24位	24位	18位	23位	4位	13位	4位	4位
8	中小企業者等特別支援金(令和3年度実施)	2.697	4位	7位	12位	3位	4位	13位	24位	4位	11位	3位
9	感染者数情報の公表	2.694	7位	10位	8位	11位	10位	10位	6位	11位	19位	16位
10	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金	2.679	6位	11位	12位	12位	5位	10位	9位	15位	9位	17位
11	自宅療養者に対する支援	2.668	12位	9位	9位	9位	7位	7位	10位	22位	13位	27位
12	公共施設の利用制限	2.636	11位	15位	16位	23位	15位	26位	8位	15位	8位	5位
13	高等学校等修学給付金	2.620	17位	14位	24位	26位	20位	27位	19位	8位	5位	6位
14	統一的な対応方針の公表	2.602	20位	13位	9位	14位	14位	20位	7位	18位	23位	20位
15	キャッシュレス決済ポイント還元事業(令和3年度実施)	2.597	18位	16位	18位	7位	3位	9位	22位	20位	27位	25位
16	学校のICT学習環境の拡充	2.594	22位	19位	3位	18位	24位	24位	15位	13位	21位	18位
17	商店会活性出店支援金	2.589	9位	24位	-	6位	8位	15位	26位	10位	18位	9位
18	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	2.587	19位	12位	3位	10位	13位	15位	13位	27位	20位	21位
19	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	2.579	16位	18位	18位	21位	19位	22位	16位	17位	10位	15位
20	高齢者等緊急訪問介護の拡充(レスキューヘルパー)	2.576	20位	17位	23位	13位	22位	17位	14位	23位	17位	14位

順位	項目	満足度	男性	女性	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
21	福祉体制を維持するための支援金	2.563	12位	23位	18位	19位	17位	5位	17位	12位	24位	23位
22	住居確保給付金	2.529	24位	21位	3位	22位	12位	8位	23位	25位	26位	12位
22	介護保険料の減免	2.529	25位	22位	11位	20位	26位	6位	18位	19位	16位	26位
24	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	2.527	15位	25位	18位	8位	21位	12位	25位	9位	22位	13位
25	国民健康保険税の減免	2.526	27位	20位	3位	27位	25位	19位	21位	24位	15位	19位
26	後期高齢者医療保険料の減免	2.514	23位	26位	12位	25位	27位	21位	11位	26位	12位	24位
27	事業者支援「ほっとらいん」	2.409	26位	27位	-	5位	16位	25位	27位	21位	25位	21位

性別で見ると、男性、女性ともに「暮らし地域応援券（令和3年度実施）」が第1位、「ワクチン接種体制の整備」が第2位、「高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続」が第3位となりました。男性では「中小企業者等特別支援金（令和3年度実施）」が第4位、女性では「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」が第4位となりました。

年代別では、30～39歳で「キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施）」が第3位となりました。

問19 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（複数回答）

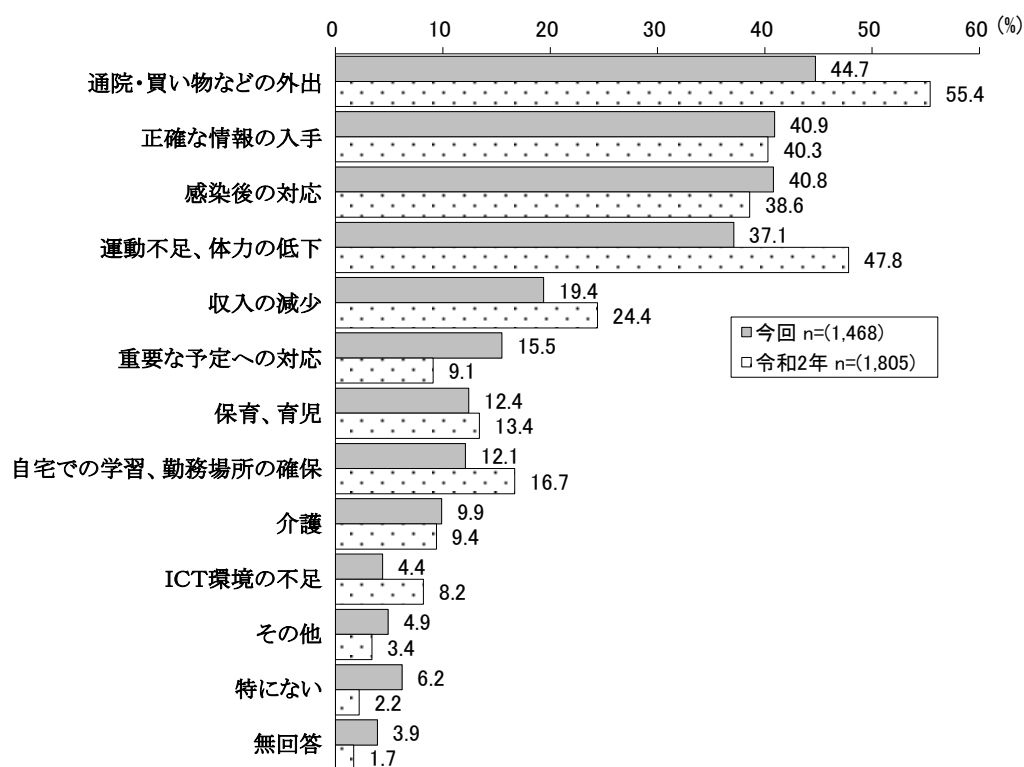


※今回から「就労支援」を新規で追加した。

※「子ども・子育て（経済的支援以外）」は、前回調査では「子育て（経済的支援以外）」であった。

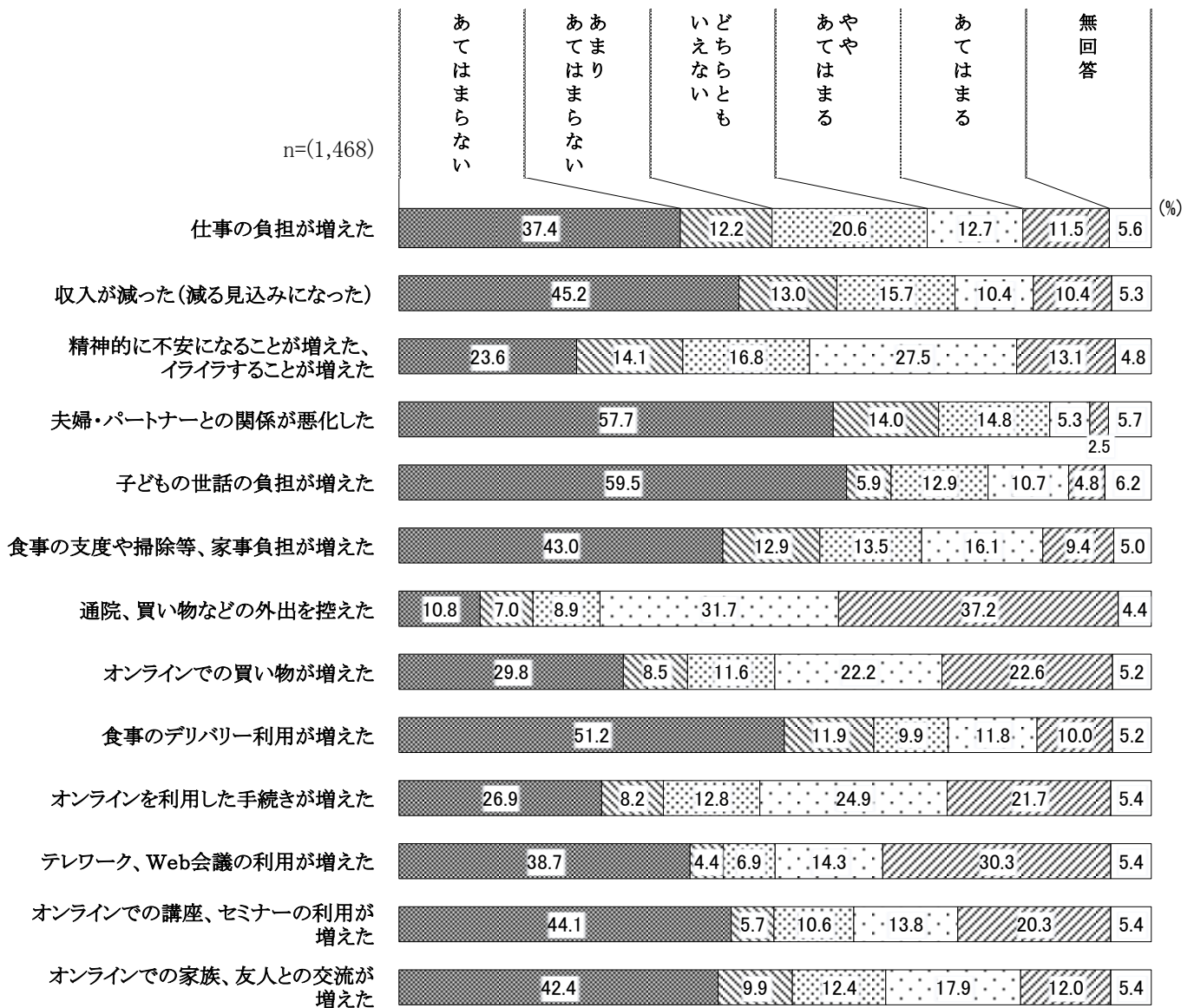
新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策についてうかがったところ、「保健・医療」（77.7%）が最も高く、次いで「個人向け経済的支援」（33.7%）、「行政手続の電子化（オンライン申請など）」（28.4%）が続いています。前回調査と比較すると、「行政手続の電子化（オンライン申請など）」が2.9ポイント増加したのに対し、「事業者向け経済的支援」は14.8ポイント、「個人向け経済的支援」は12.3ポイント、「教育（経済的支援以外）」は6.5ポイント減少しています。

問20 不安に感じたことや困ったことの内容（複数回答）



新型コロナウイルス感染症の状況下で不安に感じたことや困ったことの内容をうかがったところ、「通院・買い物などの外出」（44.7%）が最も高く、次いで「正確な情報の入手」（40.9%）、「感染後の対応」（40.8%）、「運動不足、体力の低下」（37.1%）が続いています。前回調査と比較すると、「重要な予定への対応」は6.4ポイント増加し、「通院・買い物などの外出」と「運動不足、体力の低下」は10.7ポイント、「収入の減少」は5.0ポイント減少しています。

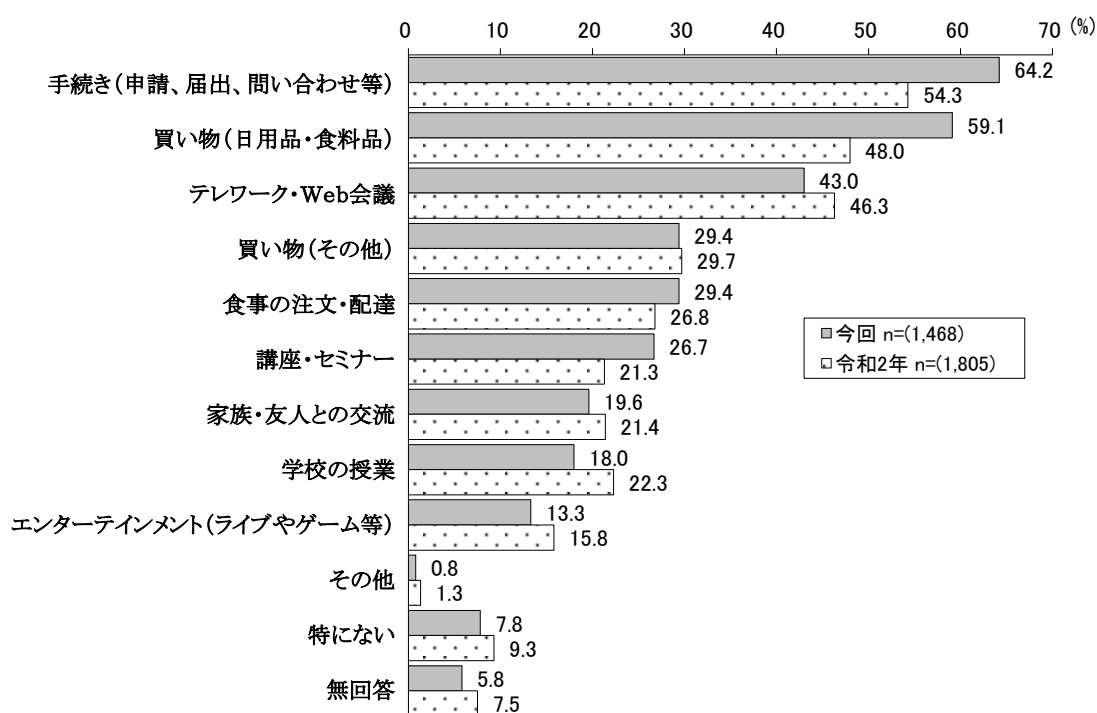
問21 生活や行動の変化



新型コロナウイルス感染症の状況下での生活や行動の変化をうかがったところ、「ややあてはまる」と「あてはまる」を合わせた「あてはまる」は、『通院、買い物などの外出を控えた』で68.9%と最も高く、次いで『オンラインを利用した手続きが増えた』（46.6%）、『オンラインでの買い物が増えた』（44.8%）、『テレワーク、Web会議の利用が増えた』（44.6%）となりました。

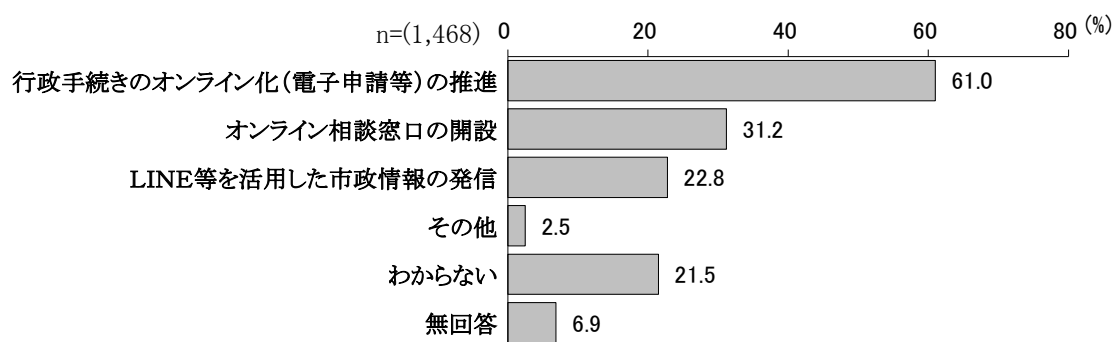
一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせた「あてはまらない」は、『夫婦・パートナーとの関係が悪化した』（71.7%）が最も高く、次いで『子どもの世話の負担が増えた』（65.4%）、『食事のデリバリー利用が増えた』（63.1%）となりました。

問22 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（複数回答）



今後も利用が促進されるべきオンライン活動をうかがったところ、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」（64.2%）が最も高く、次いで「買い物（日用品・食料品）」（59.1%）、「テレワーク・Web会議」（43.0%）が続いています。前回調査と比較すると、特に「買い物（日用品・食料品）」は11.1ポイント、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は9.9ポイント、「講座・セミナー」は5.4ポイント増加しています。

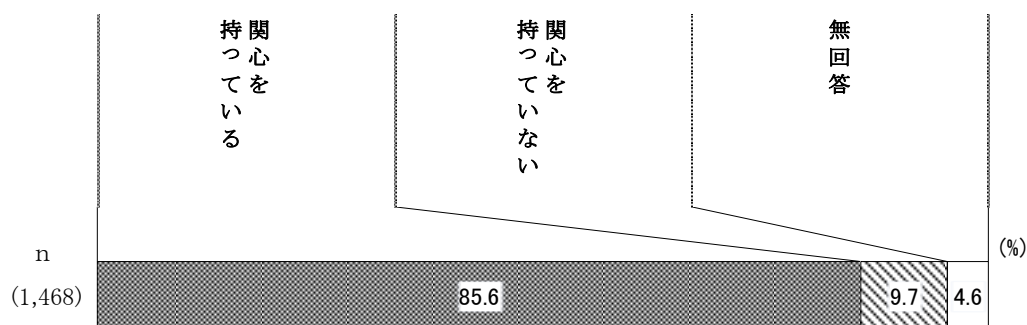
問23 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取組み（複数回答）



行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取組みについてうかがったところ、「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」が61.0%と過半数を超えています。次いで「オンライン相談窓口の開設」（31.2%）、「LINE等を活用した市政情報の発信」（22.8%）が続いています。

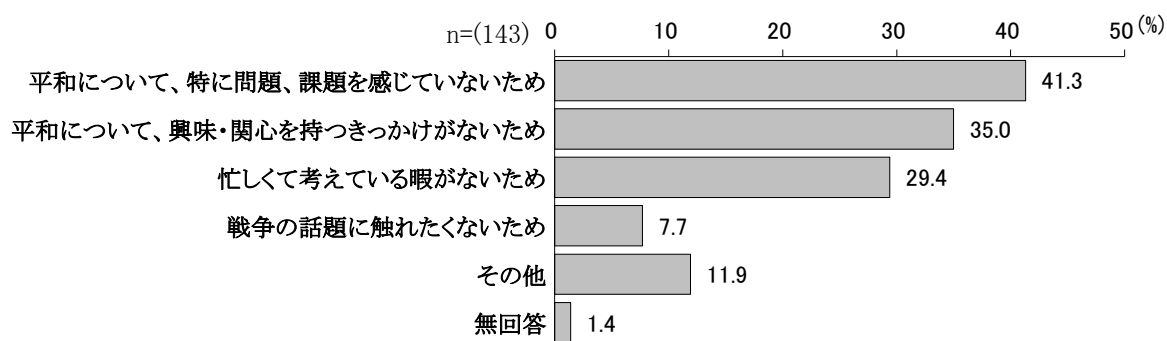
5 平和・多文化共生について

問24 「平和」についての関心の有無



「平和」についての関心の有無をうかがったところ、「興味を持っている」と回答した人が85.6%と最も高く、「興味を持っていない」が9.7%となりました。

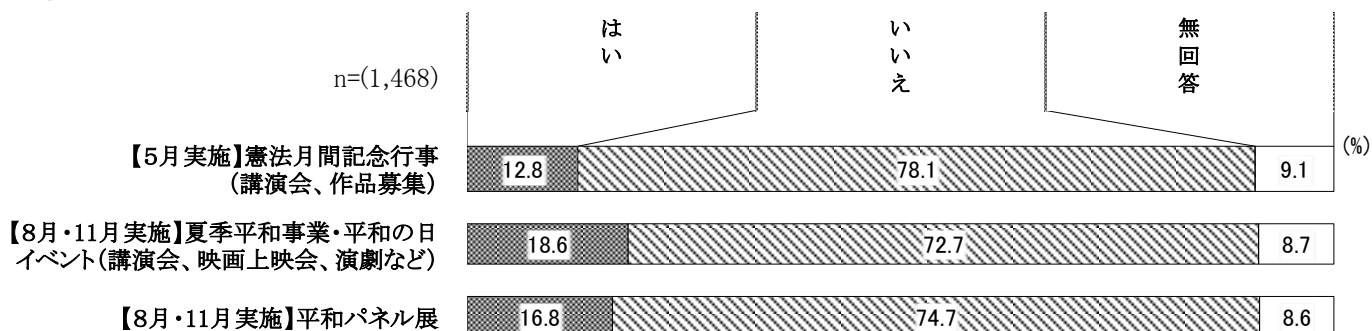
問24-1 興味を持っていない理由（複数回答）



興味を持っていない理由は、「平和について、特に問題、課題を感じていないため」が41.3%で最も高く、次いで「平和について、興味・関心を持つきっかけがないため」（35.0%）、「忙しくて考えている暇がないため」（29.4%）が続いています。

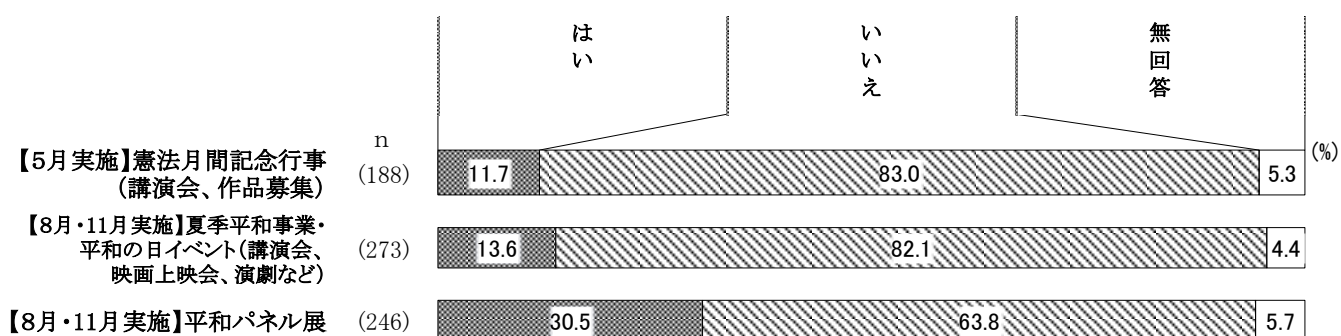
問25 市の平和事業の認知・参加状況

①知っている



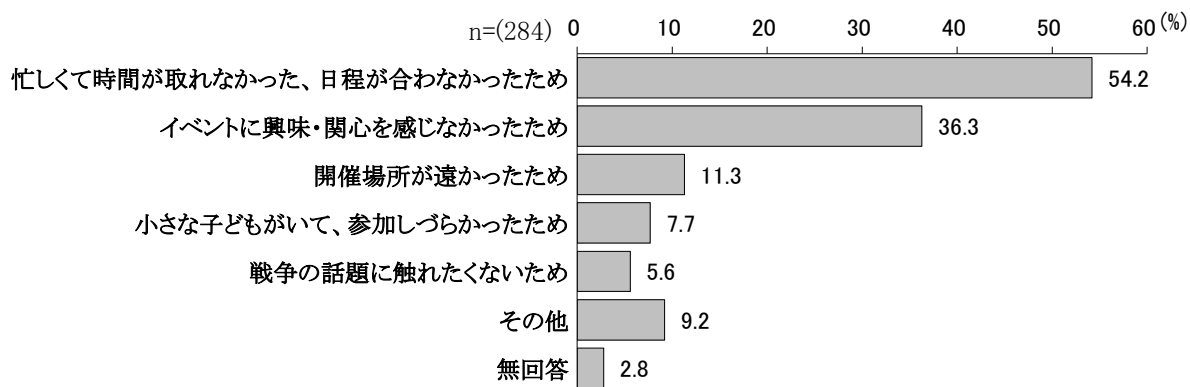
市の平和事業の認知状況をうかがったところ、いずれの事業も「いいえ」が7割を超えているのに対し、「はい（知っている）」は、『夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）』で18.6%と最も高く、次いで『平和パネル展』（16.8%）、『憲法月間記念行事（講演会、作品募集）』（12.8%）となりました。

②参加したことがある



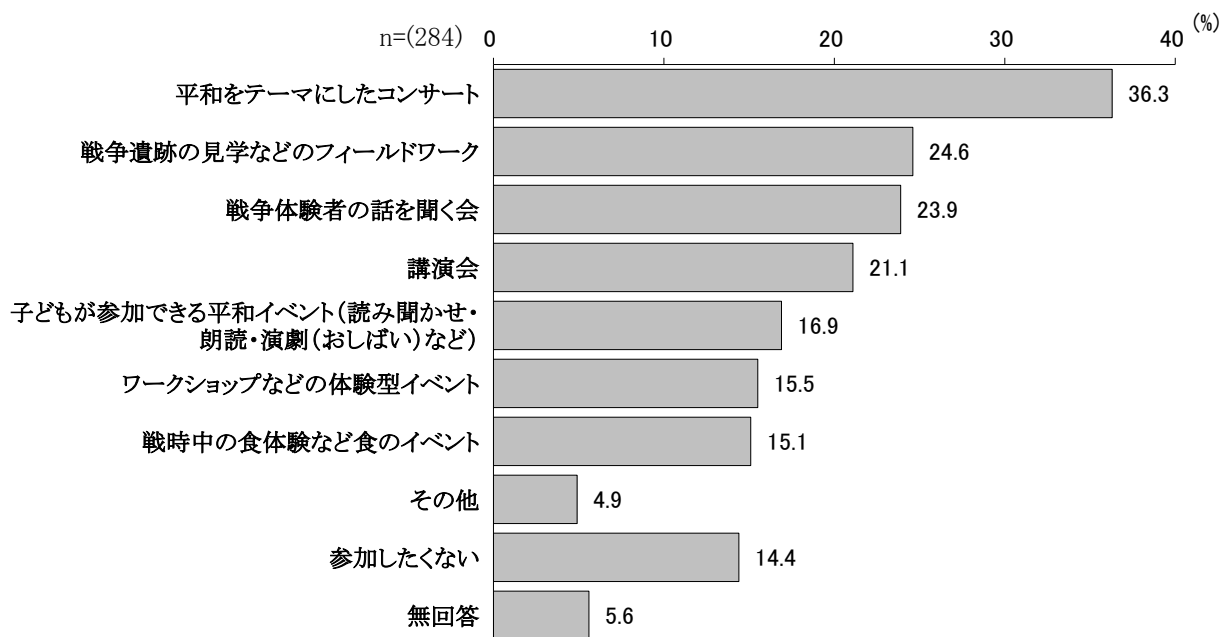
市の平和事業を「はい（知っている）」と回答した人に、参加状況をうかがったところ、『平和パネル展』を除き「いいえ」が『憲法月間記念行事（講演会、作品募集）』（83.0%）と『夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）』（82.1%）で8割を超えているのに対し、「はい（参加したことがある）」は、『平和パネル展』で30.5%と最も高く、次いで『夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）』（13.6%）、『憲法月間記念行事（講演会、作品募集）』（11.7%）となりました。

問25-1 参加しなかった理由（複数回答）



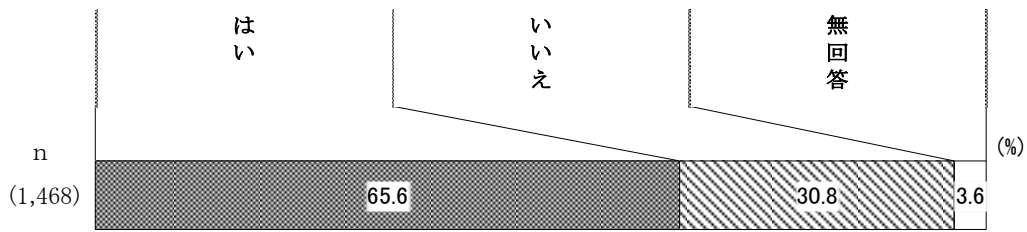
参加しなかった理由は、「忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため」が54.2%で過半数を超えています。次いで「イベントに興味・関心を感じなかったため」（36.3%）、「開催場所が遠かったため」（11.3%）が続いています。

問25-2 参加したい事業・イベント（複数回答）



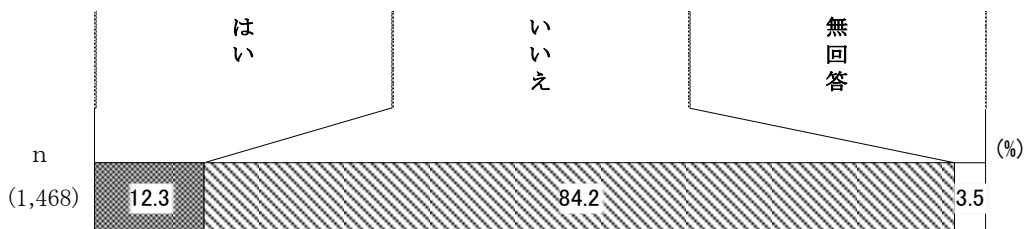
参加したい事業・イベントは、「平和をテーマにしたコンサート」（36.3%）が最も高くなりました。次いで「戦争遺跡の見学などのフィールドワーク」（24.6%）、「戦争体験者の話を聞く会」（23.9%）、「講演会」（21.1%）が続いています。

問26 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度



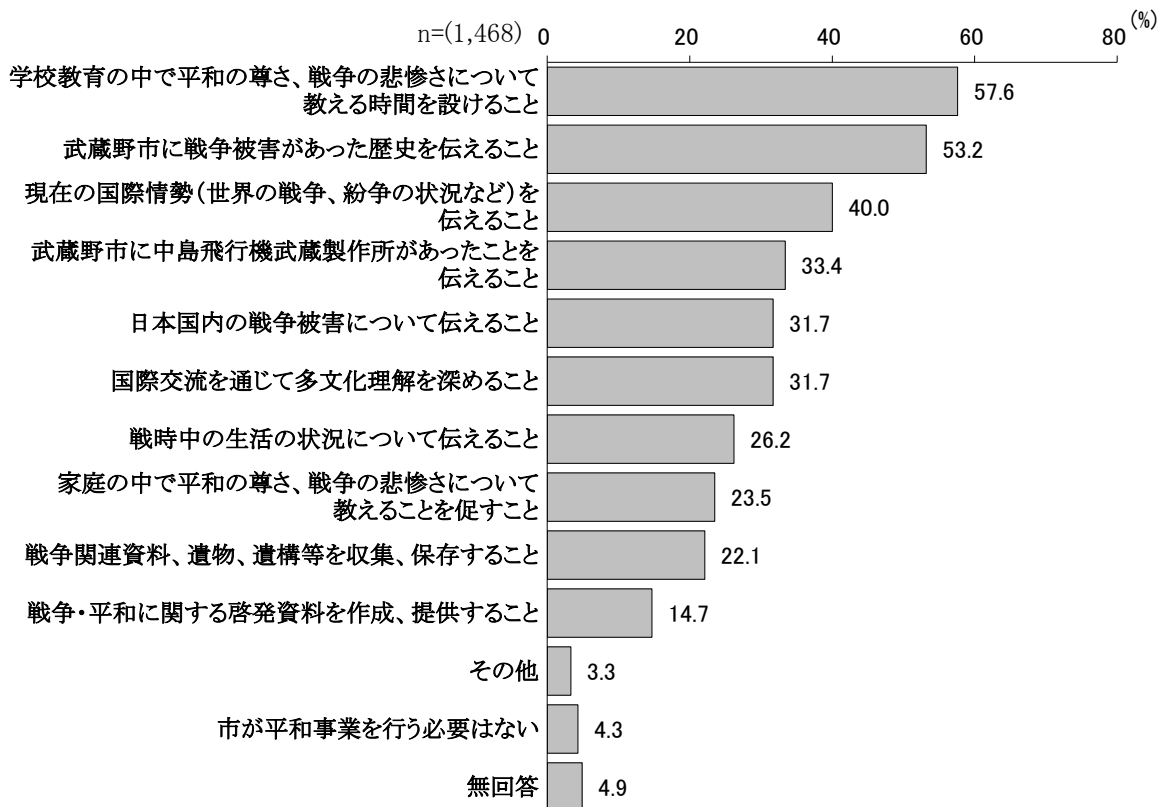
戦時中、都立武蔵野中央公園の場所に中島飛行機武蔵製作所があったことを知っているかかかったところ、「はい（知っている）」と回答した人が65.6%、「いいえ」が30.8%となりました。

問27 「武蔵野市平和の日」（11月24日）の認知度



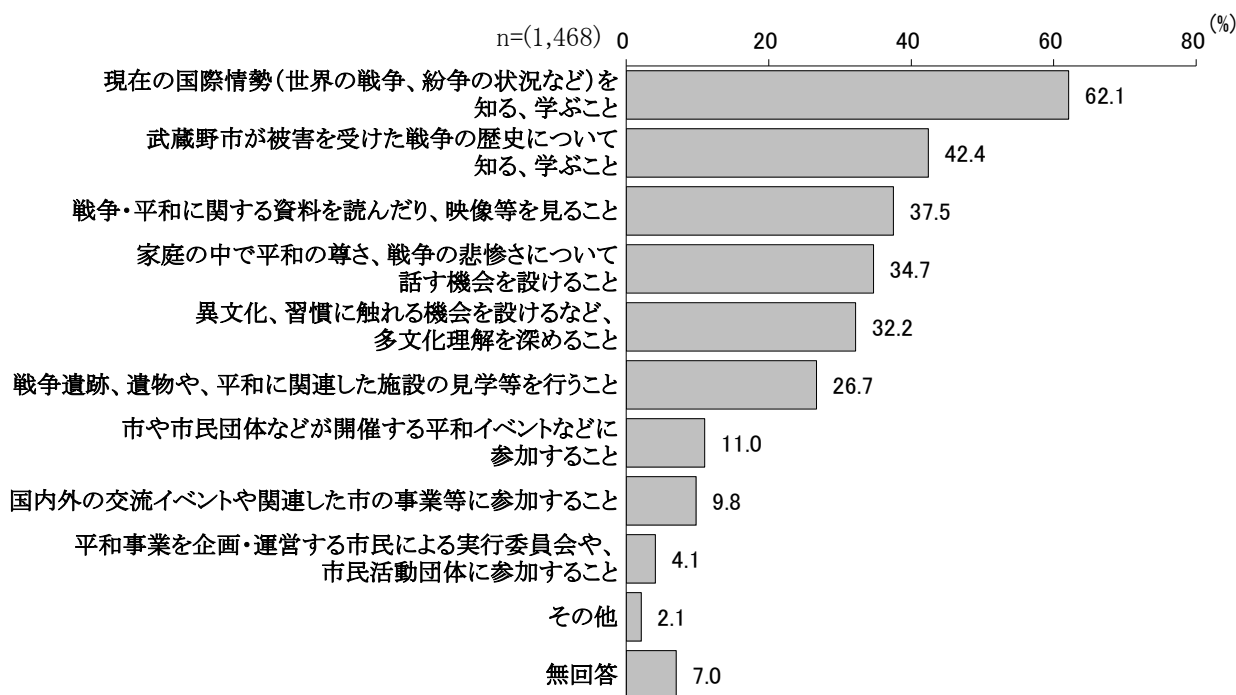
市が11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定していることを知っているかかかったところ、「いいえ」と回答した人が84.2%と、8割以上を占めているのに対し、「はい（知っている）」は12.3%となっています。

問28 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと（複数回答）



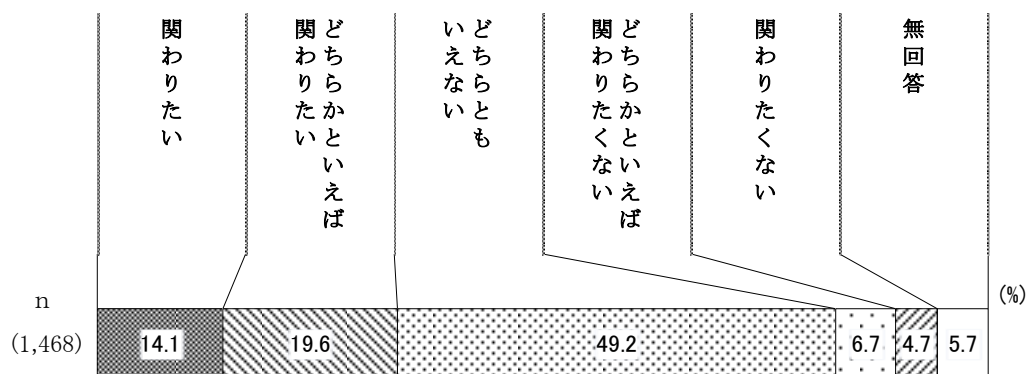
平和施策を進めるうえで市が取り組むべきことについてうかがったところ、「学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること」が57.6%、「武蔵野市に戦争被害があった歴史を伝えること」が53.2%と過半数を超えています。次いで、「現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を伝えること」（40.0%）、「武蔵野市に中島飛行機武蔵製作所があったことを伝えること」（33.4%）が続いています。

問29 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること（複数回答）



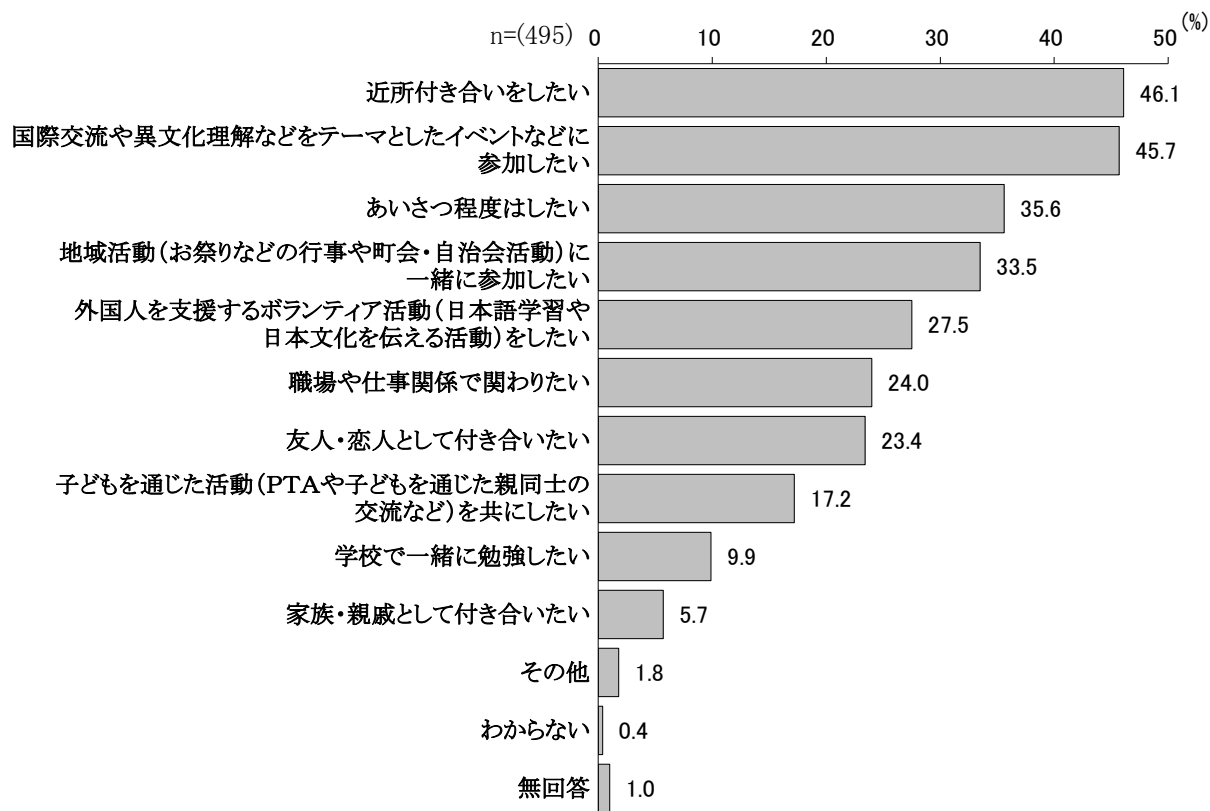
平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に継承するために自身が取り組めることについてうかがったところ、「現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を知る、学ぶこと」（62.1%）が最も高く6割を超えています。次いで、「武蔵野市が被害を受けた戦争の歴史について知る、学ぶこと」（42.4%）、「戦争・平和に関する資料を読んだり、映像等を見ること」（37.5%）、「家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて話す機会を設けること」（34.7%）、「異文化、習慣に触れる機会を設けるなど、多文化理解を深めること」（32.2%）が続いています。

問30 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望



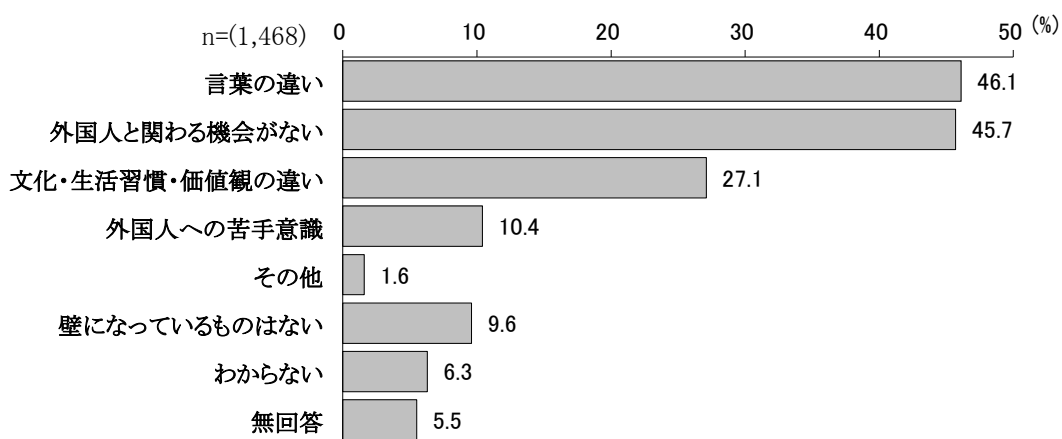
武蔵野市在住の外国人との関わりの希望は、「どちらともいえない」と回答した人が49.2%と最も高く、「関わりたい」（14.1%）と「どちらかといえば関わりたい」（19.6%）を合わせた《関わりたい》が33.7%となりました。

問30-1 希望する外国人との関わり方（複数回答）



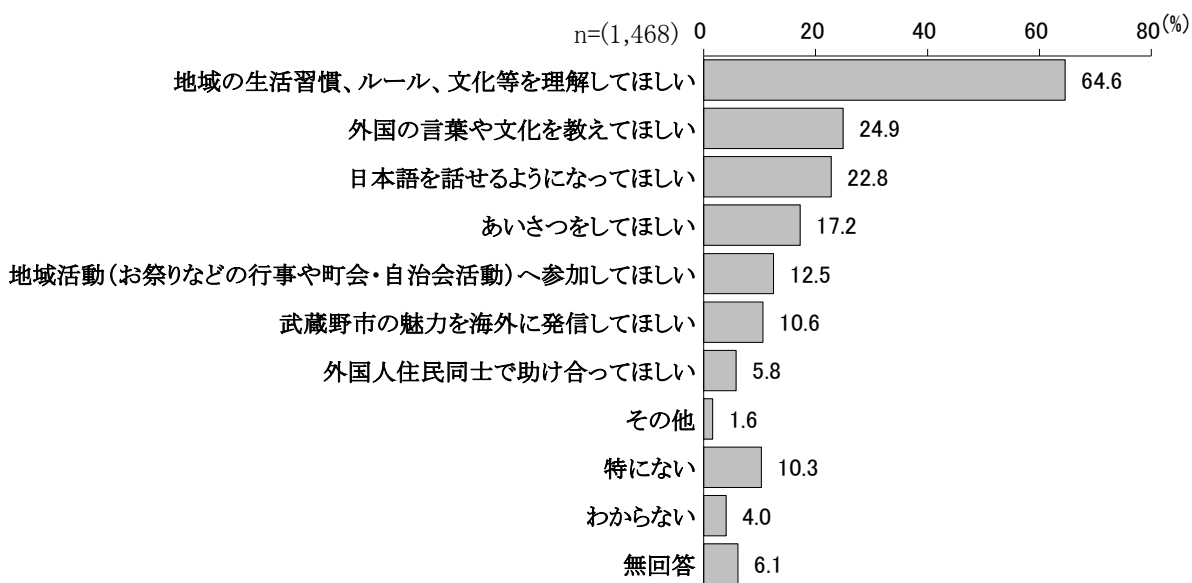
希望する外国人との関わり方についてうかがったところ、「近所付き合いをしたい」（46.1%）、「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」（45.7%）がともに4割を超えています。次いで、「あいさつ程度はしたい」（35.6%）、「地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）と一緒に参加したい」（33.5%）が続いています。

問31 外国人と関わる際の支障（複数回答）



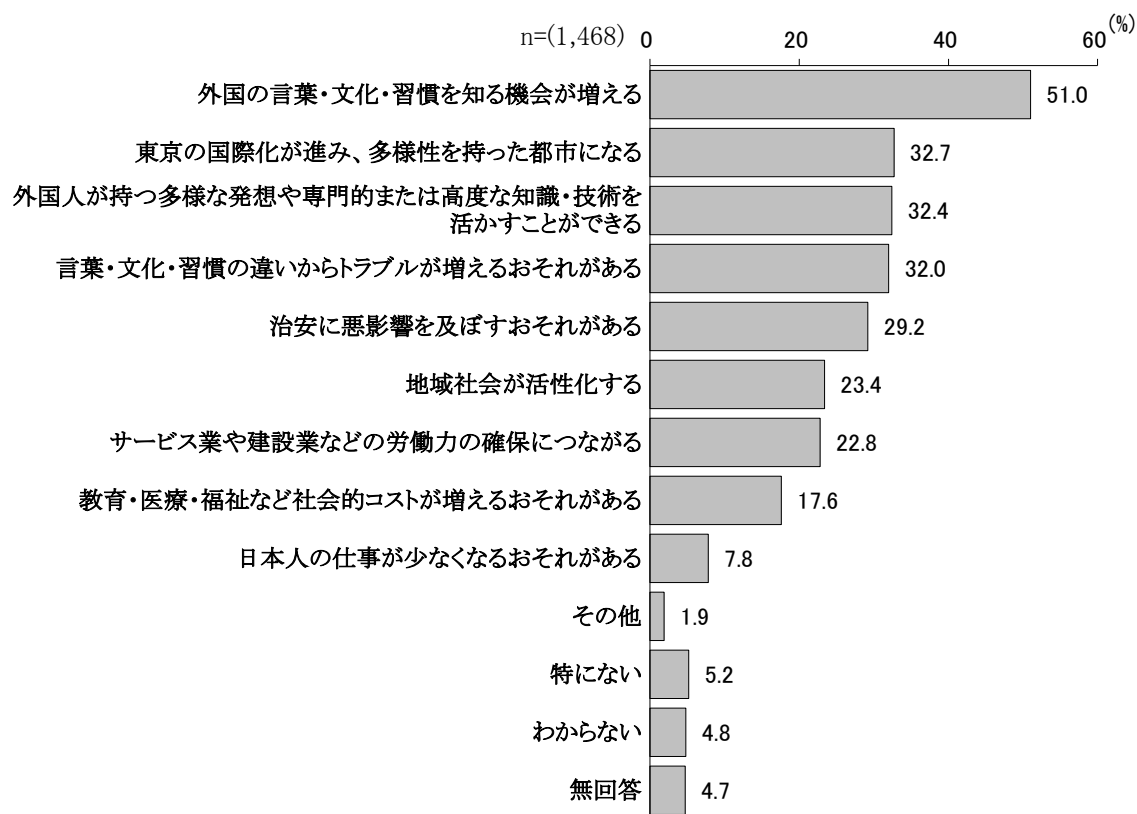
外国人と関わる際の支障についてうかがったところ、「言葉の違い」（46.1%）、「外国人と関わる機会がない」（45.7%）がともに4割を超えています。次いで、「文化・生活習慣・価値観の違い」（27.1%）が続いています。

問32 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと（複数回答）



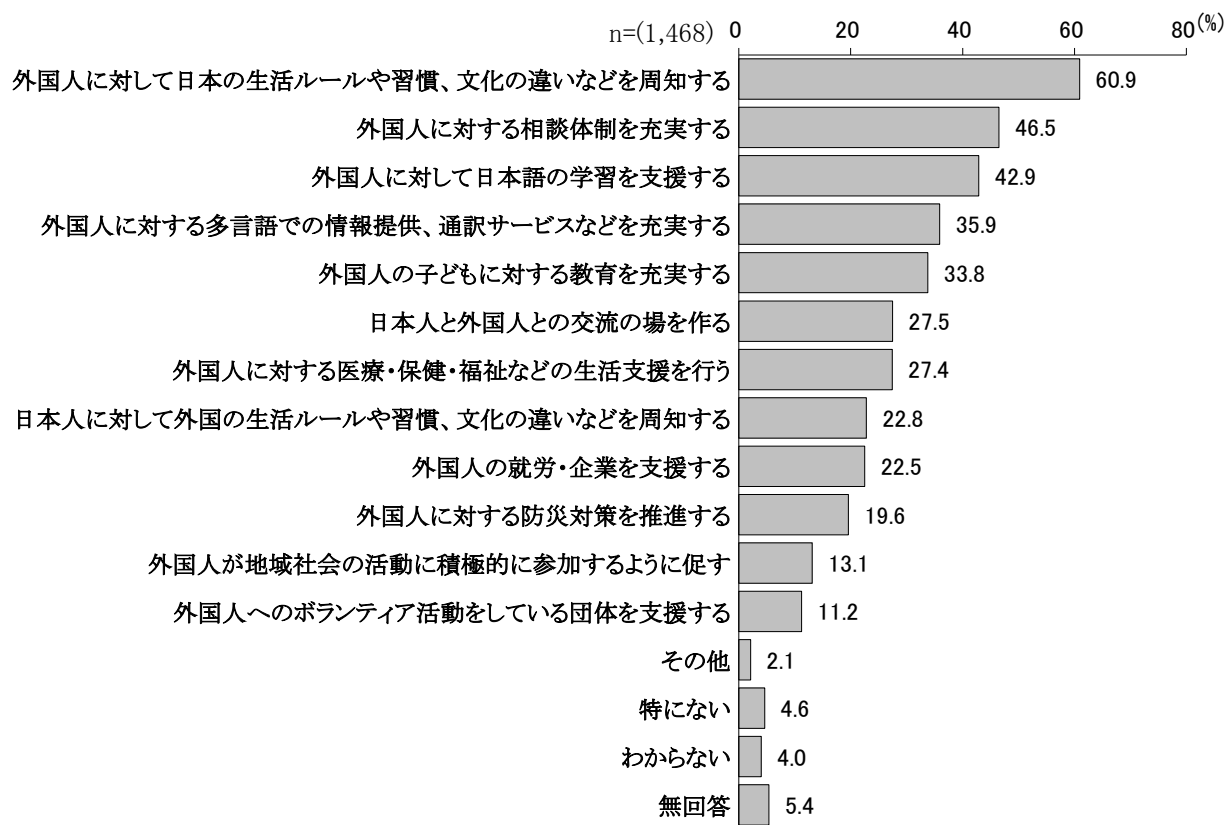
外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うことについてうかがったところ、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」（64.6%）が最も高く6割を超えています。次いで、「外国の言葉や文化を教えてほしい」（24.9%）、「日本語を話せるようになってほしい」（22.8%）、「あいさつをしてほしい」（17.2%）が続いています。

問33 地域に外国人が増えることによる影響（複数回答）



地域に外国人が増えることによる影響についてうかがったところ、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が51.0%と過半数を超えています。次いで、「東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる」（32.7%）、「外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる」（32.4%）、「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」（32.0%）が続いています。

問34 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと（複数回答）



多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきことについてうかがったところ、「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」（60.9%）が最も高く6割を超えています。次いで、「外国人に対する相談体制を充実する」（46.5%）、「外国人に対して日本語の学習を支援する」（42.9%）、「外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する」（35.9%）、「外国人の子どもに対する教育を充実する」（33.8%）が続いています。

令和4（2022）年度
武蔵野市民意識調査報告書【速報版】

発行 令和4年11月
武蔵野市市民部市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話（0422）60-1829（直通）